

平成 26 年度

# 東京藝術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

※本学所定の「入学願書等提出書類」は別冊

平成 25 年 12 月

東 京 藝 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

音楽学部教務係 TEL 050 (5525) 2309

26

## 受験上の注意事項

1. 試験日程（集合時刻・試験時刻）及び合格者受験番号等試験に関する諸事項は、音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。
  - (1) 本募集要項中の「入学試験実施日程表」に書かれている合格者発表日及び日程等掲示日には、受験者自身が必ず掲示又は本学ホームページで確認してください。（過去に掲示の見落としや誤認のため受験できなかった者がいたので、特に注意してください。）なお、学部第1回試験日程は、平成26年2月24日(月)、別科試験日程は、平成26年3月7日(金)いずれも16時以降に掲示及び本学ホームページで発表します。
  - (2) 掲示記載の番号は、本学部受験票の受験番号です。
2. 試験当日は、掲示を見てから定められた集合時刻までに集合場所に入り、以後はすべて係員の指示に従ってください。（受験者以外の入構は、認めません。）
  - (1) 本学部受験票と大学入試センター試験受験票（私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）を常に携帯し、正門出入りの際は、守衛所の係員に提示してください。（受験票を忘れてたり紛失した場合は、係員に申し出てください。）
  - (2) 実技試験において集合時刻に遅れた者に対しては、受験を許可しません。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに入試事務室に申し出てください。
  - (3) 音出し室以外（集合場所、控室、廊下等）での発声または楽器の練習を禁止します。
  - (4) 音出し室にあるピアノの使用は、禁止します。
  - (5) 実技試験における受験の順序は、係員の指示に従ってください。
  - (6) 筆記試験において下敷は、使用できません。時計は、計時機能だけのものに限り使用できません。
  - (7) 携帯電話・PHS等は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておいてください。
  - (8) 試験の内容に関する質問には、一切答えません。
  - (9) 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、近くにいる係員に申し出てください。
  - (10) 本学部構内に忘れ物をした場合は、1週間以内に本学部教務係に申し出てください。
3. 試験場等の下見は、一切認めません。
4. 試験に関する電話による問い合わせには、原則応じません。
5. 本学に駐車場はありません。
6. 毎年、入試の時期になると、本学及び駅の近辺で、本学関係者であるような印象を与えて可否電報を取扱う者がいますが、本学とは一切関係ありませんので注意してください。また、本学は大学外において直接受験生に対して、住所その他の連絡先等を問い合わせることは一切ないので、あわせて注意してください。

以上

# 目 次

## I 音楽学部

○ 音楽学部アドミッション・ポリシー	1
1. 募集人員	2
2. 出願資格	3
3. 選抜方法	3
4. 私費外国人留学生	4
5. 出願手続	5
6. 試験科目一覧	12
7. 試験日程・試験場	12
8. 合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について	13
9. 試験内容及び試験曲等	
ア. 専攻実技等	14
イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等	42
ウ. 面接	47
エ. その他	47
10. 合格者発表	47
11. 入学手続等について	48
12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	49
13. 奨学金，特待生について	49
14. 入学手続に係る郵送による受付について	50

## II 別科

出願手続・試験曲等	51
-----------	----

III 平成26年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（別表1）	65
IV 平成26年度音楽学部・別科入学試験実施日程表（別表2）	66
V 個人情報の取扱いについて	67

# I 音楽学部

## ○ 音楽学部アドミッション・ポリシー

音楽学部は、音楽についての深い学識と高い技術を授け、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を養い、社会的要請に応える人材の育成を目指しています。

この教育理念に基づき、本学部からは、百年以上に亘り世界的な音楽家や広く社会の文化発展に寄与した多くの人材を輩出してきました。

こうした伝統と遺産を継承しつつ、新たな歴史を刻み込む強い意志と意欲を持った方を求めています。

具体的に本学部各科が求める学生像は次のとおりです。

### ○作曲科

優れた音楽的能力のみならず、伝統的な語法に関する確かな素養を身につけ、且つ自発性、創造性を有する人材

### ○声楽科

優れた声楽家になる可能性を持ち、智と人間性に優れた人材

### ○器楽科 ピアノ

優れたピアノ演奏技術と芸術的感性のみならず、音楽全般に対して幅広い関心を持っている人材

### ○器楽科 オルガン

確かな目的意識と意欲を持ち自分の才能をのばす熱意と忍耐力を持ち、音楽とオルガンに喜びを持って取り組む人材

### ○器楽科 弦楽

優れた基礎能力のみならず音楽表現に対する積極性を兼ね備えている人材

### ○器楽科 管打楽

演奏家として、人間と音楽に閃きを感じ持っている人材

### ○器楽科 古楽

専攻する楽器の構造と歴史に深い関心を持ち、喜びと熱意を持って演奏表現に取り組む将来性ある人材

### ○指揮科

優れたソルフェージュ力や豊かで説得力に富んだ音楽性を持ち、音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを兼ね備えた人材

### ○邦楽科

専攻分野のみならず専攻以外の音楽にも幅広く研究を重ね、技術・人格共に優れた演奏家となるべく努力する人材

### ○楽理科

幅広い資料を検証する語学能力、独自の視点・問題点を発見する独創力、批判的に歴史・社会・文化を考察する思考力と論理性、様々な音楽に感動する柔軟な心を備え、将来何らかの形で音楽研究・実践・教育に携わる志を持つ人材

### ○音楽環境創造科

従来の枠をこえた観点で音楽芸術の創造をめざし、音楽・文化・社会の関わりについて強い関心を持ち、音楽を中心とした新しい文化環境創造を志す人材

## 1. 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
作 曲 科	15
声 楽 科	54
器 楽 科	98
指 揮 科	2
邦 楽 科	25
楽 理 科	23
音楽環境創造科	20
合 計	237

※ 本学部は、前期日程のみの募集です。

※ 音楽環境創造科の授業は、主に千住校地（東京都足立区）で行います。

[千住校地所在地]

〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

[交通機関]

(J R) 北千住駅下車徒歩5分

(地下鉄) 千代田線・日比谷線北千住駅下車  
徒歩5分

(東武鉄道) 東武伊勢崎線北千住駅下車徒歩5分

(首都圏新都市鉄道) つくばエクスプレス北千  
住駅下車徒歩5分

※ 音楽環境創造科の入学者選抜試験は、他の  
学科と同様、上野校地(東京都台東区) (裏表  
紙参照)で行います。

(注)1. 音楽学部への出願は、志願する科1つに限ります。

① 声楽科志願者は、次の中から1声種を選択し、出願してください。

ソプラノ・アルト (メゾソプラノを含む)・テノール・バス (バリトンを含む)

② 弦楽器、管打楽器及び古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願してください。

(弦楽) ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, コントラバス, ハープ

(管打楽) フルート, オーボエ, クラリネット, ファゴット, サクソフォーン, ホルン, トランペット, テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン, ユーフォニアム, チューバ, 打楽器

(古楽) チェンバロ, バロックヴァイオリン, リコーダー

③ 邦楽科志願者は、次の中から1種を選択し、出願してください。

長唄三味線, 常磐津三味線, 清元三味線, 長唄, 常磐津, 清元, 邦楽囃子, 日本舞踊, 箏曲 (山田流), 箏曲 (生田流), 尺八 (琴古流), 尺八 (都山流), 能楽 (観世流), 能楽 (宝生流), 能楽 (下掛宝生流), 能楽 (狂言), 能楽囃子, 雅楽 (笙), 雅楽 (篳篥), 雅楽 (龍笛)

## 2. 音楽学部と別科の併願受験について

音楽学部と別科の併願受験については、以下のとおり取り扱います。

① 併願を認める学科・専攻

音楽学部声楽科・器楽科(管打楽器)及び邦楽科の各志願者にあつては、それぞれ別科の声楽専修・器楽(管打楽器)専修及び邦楽専修と併願受験できます。

② 併願を禁止する学科・専攻

音楽学部器楽科(ピアノ, オルガン, 弦楽器, 古楽)の各志願者は、それぞれ別科の各専修と併願受験することはできません。これらについては、志願する音楽学部の学科・専攻と別科の専修が異なる場合でも併願受験はできません。

## 2. 出願資格

本学部に出願できる者は、次のいずれかに該当し、本学部の指定する平成26年度大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験した者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成26年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成26年3月31日までに、これに該当する見込みの者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成26年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成26年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成26年3月修了見込みの者
  - エ 文部科学大臣の指定した者
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成26年3月31日までに合格見込みの者で、18歳に達したもの
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（補足）出願資格(3)カにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生支援課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出してください。提出締切期限は、①大学入試センター試験に出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、平成25年8月30日（金）までとし、②大学入試センター試験に出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、平成25年12月27日（金）までとします。（入学選抜要項抜粋）

- (注)1. 本学部（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できませんが、「後期日程」の他の大学・学部には出願できます。
2. 他の国公立大学の推薦入学の合格者及びAO入試に合格し入学手続きを完了した者は、本学部の入学試験を受験しても合格者とはなりません。ただし、当該大学の推薦入学の辞退を許可された者及びAO入試の入学辞退届を提出した者は除きます。
  3. 本学部合格し、平成26年3月15日までに入学手続きを行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意してください。

## 3. 選抜方法

入学者の選抜は、専攻実技等・音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等・面接（作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の志願者のみ）及び出身学校長から提出された調査書並びに大学入試センター試験の成績の各資料を総合して判定します。

### 1. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

本学部においては、大学入試センター試験について別表1のとおり受験を要する教科・科目を指定しているのでまちがいのないように注意してください。願書受理後であっても、本学部の指定した教科・科目を受験していないことが明らかになった場合は失格とします。

## 2. 私費外国人留学生

本学部が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料を総合して判定します。なお、私費外国人留学生には、大学入試センター試験を課しません。（「私費外国人留学生」についての詳細は本頁参照）

## 3. 特別の選抜方法について

本学部においては、2段階選抜、推薦入学、専門高校・総合学科卒業生選抜、AO入試、帰国子女・社会人のための特別の選抜は行いません。

## 4. 私費外国人留学生

「私費外国人留学生」とは、外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の**出願資格**のいずれかに該当する者をさします。

大学入試センター試験は課しませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成25年度「日本留学試験」を本学部が定めた（下記「**日本留学試験**」出題科目等について」を参照）とおりに受験しなければなりません。募集人員は、入学定員外として若干名です。なお、日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成26年3月31日までに卒業見込みの者は、ここでいう「私費外国人留学生」には該当しません。

### 出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成26年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び平成26年3月31日までに取得見込みの者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるヨーロッパ・カウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズの認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成26年3月31日までに修了見込みの者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者

### 「日本留学試験」出題科目等について

「日本語」及び「総合科目」を受験してください。

- (注)1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもかまいません。
2. 渡日前の入学許可は行いません。（外国において本学部の入学者選抜は行いません。）
  3. 6月・11月実施のいずれの試験を受験してもかまいません。

### 「日本留学試験」に関する問い合わせ先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課  
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457  
ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

## 5. 出願手続

### 1. 願書受付期間

平成26年1月27日(月)～2月5日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とします。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものを受理しないので注意してください。

### 2. 検定料

#### ① 金額：17,000円

国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、必ず提出してください。

#### ② 振込期間：平成26年1月6日(月)～平成26年2月5日(水)

#### ③ 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)のいずれかの方法により振り込んでください。

##### (ア) コンビニエンスストアでのお振込み

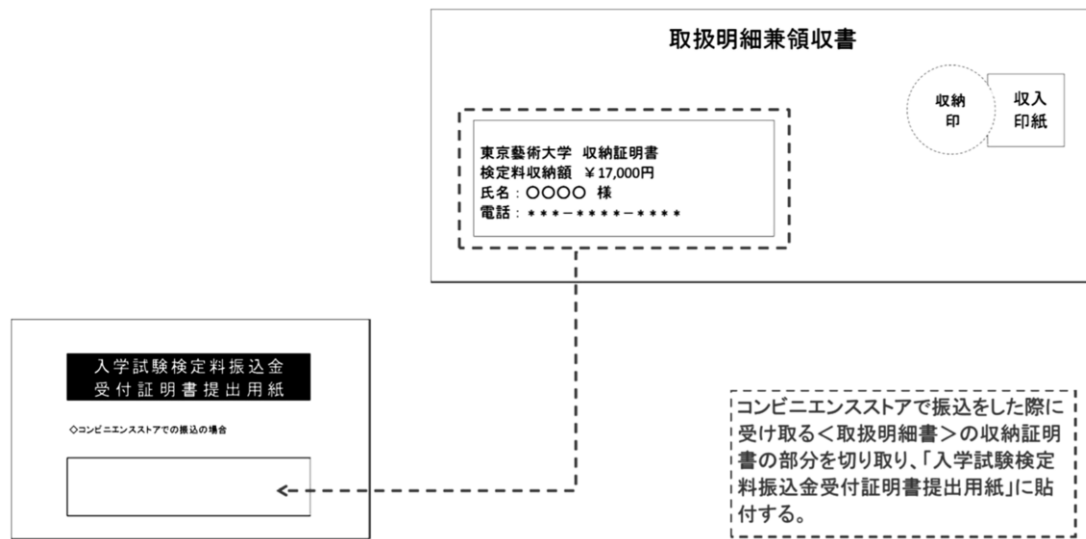
- ・8頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・振込時に、この要項に添付してある「振込依頼書(A・B・C票)」に記載されている「整理番号」(5桁)の入力が必要になります。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書〉の「収納証明書」の部分を切り取り、「入学試験検定料振込金受付証明提出用紙」に貼付してください。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

##### (イ) 金融機関窓口でのお振込み

- ・この要項に添付してある「振込依頼書(A・B・C票)」を使用してください。
- ・取扱金融機関は下記の通りです。  
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等  
(金融公庫では振り込めないので注意してください)
- ・振込時には別途手数料が必要です。  
(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になります)
- ・金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振込は受け付けません。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明提出用紙」に貼付してください。

「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」への貼付について

#### (ア) コンビニエンスストアでの振込の場合



(次頁に続く)



(イ) 金融機関窓口での振込の場合

**A票 振込依頼書**  
 (「東京藝術大学」入学試験検定料)  
 振込期間(金融機関取扱い期間) 平成〇年〇月〇日(〇)～平成〇年〇月〇日(〇)  
 ご依頼日 平成 年 月 日 電 簿 帳 手 続 料 円 角  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部 金 額 円 角 分  
 普通 151793  
 収入印紙 収入印紙 収入印紙  
 振込人 (印) トウキョウゲイジンダイガク  
 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口  
 整理番号 入学者氏名  
 依頼人 (印) ( )  
 振込印  
 ※【取扱金融機関へのお問い合わせ】  
 1. 5桁の整理番号は、氏名辨別へ連続して打電してください。  
 2. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。  
 3. B・C票は、必ず在籍簿へお貼りください。  
 4. 三井住友銀行本支店にての振込は手数料が無料となります。  
 (ATM等は不可です)  
 (取扱金融機関保管)

**B票 振込金受取書**  
 (「東京藝術大学」入学試験検定料)  
 平成 年 月 日  
 金額 円 角 分  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部  
 受取人 東京芸術大学  
 整理番号  
 志願者氏名 (印) ( )  
 手続料 円 角  
 収入印紙  
 振込印  
 (志願者保管)

**C票 「東京藝術大学」入学試験検定料等振込金受付証明書**  
 志望学科  
 金額 円 角 分  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部  
 受取人 東京芸術大学  
 整理番号  
 志願者氏名 (印) ( )  
 収入印紙  
 (提出用紙に貼り付けてください)

**入学試験検定料振込金  
 受付証明書提出用紙**  
 ○銀行等金融機関での振込の場合  
 C票  
 「東京藝術大学」入学試験  
 検定料振込金受付証明書  
 (貼付欄)

振込をした際、返却されたB・C票のうち、C票について切り離し、志望専攻・氏名を記入のうえ、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付する。

(ウ) 海外からの送金の場合

送金時に銀行から受け取る振込明細を貼付してください。

※ 海外からの検定料送金について

- ・海外在住の受験者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って外国送金してください。
- ・送金にかかる各種手数料はすべて志願者が支払ってください。
- ・万が一入金額に不足が生じた場合、出願を受理することは出来ませんのでご注意ください。
- ・振り込み後、「外国送金依頼書(送金銀行の受領印またはサイン入り)」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出してください。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advise and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Due remitter)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Due remitter)
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (Swift code)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan

(次頁に続く)

受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・受験学部 (研究科) ・受験学科 (研究分野・領域) ※送金人が志願者本人でない場合は、志願者の氏名

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)、(ウ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった (願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった) 場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(ウ) 受験票発行後、大学入試センター試験において本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合

返還金額は、(ア)と(イ)については全額とし、(ウ)については13,000円とします。

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納証明書」または「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係 (郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8) まで郵送してください。

- ①名前、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、  
⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義 (カタカナ)・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月かかります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

# 東京藝術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

**お申込みの前に** お申込みの際に、  
振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。

整理番号メモ (5桁)

下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

**セブン-イレブン マルチコピー機**

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育  
↓  
入学検定料等支払

**LAWSON Loppi** **MINI STOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン  
↓  
学び・教育・各種検定試験  
↓  
大学等入学検定料のお支払い

**あなたもコンビニに、FamilyMart Famiポート**

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。

申込・請求  
↓  
学び・教育  
↓  
大学・短大・大学院  
入学検定料払い込みサービス

**カルワザステーション**

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。

「学び・申込」  
↓  
大学等入学検定料のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票 申込券 受付票**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

**コンビニのレジでお支払いください。**

●端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

●お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。  
※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。  
※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料がかかります。

※全コンビニ共通		
払込手数料	入学検定料が3万円未満	420円
	入学検定料が3万円以上	630円

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、**学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。**

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

切り取った「収納証明書」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要な書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

【入試に関するお問合わせ先】 東京藝術大学  
美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671  
(受付時間)月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

### 3. 提出書類

志願者は、下記①～⑩までの該当する書類を本学部所定の入学願書送付用封筒を使用して、「書留速達郵便」扱いで郵送してください。

ただし、⑩伴奏楽譜（声楽科志願者）については、本学部所定の伴奏楽譜送付用封筒を使用して、「書留速達郵便」扱いとし入学願書と同時郵送してください。

(注)1. 書留郵便1通には1人分の書類のみをまとめ、出願者数名分の一括郵送はしないでください。

2. 声楽科志願者は、伴奏楽譜の中に、願書等（①～⑨、⑪～⑬）を絶対に同封しないでください。同封した場合には、受験できないことがあります。（10頁参照）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
① 入 学 願 書	本学部所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 願書に記入する氏名は、必ず戸籍簿のそれと同一文字でなければなりません。このことは、他の提出書類についても同様です。</li> <li>○ 指導教師名の申告欄には、<u>中学校入学以降受験までの間に</u>、受験志望の専攻実技科目及びソルフェージュについて指導を受けた教師の氏名及びその期間について記入してください。（別科志願者は記入不要。）正確に記憶していない場合は概略でもかまいません。なお、一度でも指導を受けた場合は記入してください。</li> <li>○ 記入は、楷書及び算用数字で黒又は青のインクかボールペンではっきりと解るように明記してください。（以下同じ）</li> </ul>
② 写 真 票	本学部所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真は<sup>(たて)</sup>4 cm×<sup>(よこ)</sup>3 cmのサイズで、明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向で出願前3か月以内に撮影したもの（スナップ写真は不可）を写真票の所定の欄に貼ってください。</li> <li>○ 写真裏面に受験志望学科及び氏名を記入してください。</li> </ul>
③ 大学入試センター試験前期日程用成績請求票	大学入試センター所定のものを本学部所定の様式に貼る	<p>平成26年度大学入試センター試験の</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p><b>前</b> 平成 26 センター試験成績請求票 国公立前期日程用</p> </div> <p>を所定の欄に貼ってください。</p> <p>なお、紛失等により成績請求票の再交付を受けた場合は、再交付後のものを貼ってください。</p>
④ 受 験 票 (裏面は返信用はがき)	本学部所定の様式	<p>受験票裏面は、「返信用郵便はがき」となっているので、志願者自身が、自己の郵便番号・住所・氏名を明記し、<b>50円切手（速達の場合は320円切手）</b>を貼ってください。なお、遠隔地の場合は、速達扱いにすることが望ましいです。</p>
⑤ 入 学 試 験 検 定 料 振 込 金 受 付 証 明 書 又 は 収 納 証 明 書 ( C 票 )	本学部所定の様式	<p><b>検定料17,000円（別料は9,800円）</b>を銀行振込またはコンビニエンスストアにより納入したのち、振込先から受領する本紙を、「<b>⑥入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈学部用〉</b>又は<b>〈別科用〉</b>」に糊付添付し、提出してください。</p>
⑥ 入 学 試 験 検 定 料 振 込 金 受 付 証 明 書 及 び 収 納 証 明 書 提 出 用 紙 〈学部用〉	本学部所定の様式	<p>「<b>⑤入学試験検定料振込金受付証明書（C票）</b>」もしくは「<b>収納証明書</b>」（検定料納入済のもの）を本紙に糊付添付したものを提出してください。</p>

(次頁に続く)

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑦ 調 査 書	出身学校長 が作成し厳 封したもの	<p>○高等学校もしくは中等教育学校卒業者及び卒業見込者 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により 出身学校から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出して ください。</p> <p>〔・卒業証明書 ・成績証明書〕</p> <p>【注1】成績証明書が発行できない場合には、それに代わる書類 または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨 の文書」を提出してください。</p> <p>【注2】廃校等により卒業証明書及び成績証明書が得られない場 合には、出身学校を所管した教育委員会または知事が作 成した上記の書類を提出してください。</p> <p>○高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む） 合格成績証明書（ただし、高等学校等において科目を履修したことにより 受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査 書又は成績証明書を添えてください。合格証明書は不要です。） ※婚姻等により調査書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付し てください。</p>
⑧ 入学手続書 類送付用宛 名ラベル シール	本学部所定 の様式	平成26年3月13日（木）入学手続書類を取りに来ない場合に、最終合格者へ の書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内 に限る。直接、取りに来る予定であっても、必ず提出すること。海外在住者 は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入すること。
⑨ 声 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定の様式 〔声 楽 科〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入してください。
⑩ 伴 奏 楽 譜	本学部所定 の様式 〔声 楽 科〕 〔志 願 者〕	<p>○ 声楽科伴奏楽譜送付用封筒を使用して、書留速達扱いで願書と別便で、同 時郵送してください。この封筒内には、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封 しないでください。同封した場合には、受験できないことがあります。</p> <p>○ 伴奏楽譜の作成にあたっては、「声楽科志願者に対する注意事項」（18頁） に従ってください。</p> <p>○ 別科（声楽専修）を併願する者は、任意の封筒を使用して、別途伴奏楽譜 を郵送してください。</p>
⑪ ピ ア ノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔ピ ア ノ〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入してください。
⑫ 古 楽 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔古 楽〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入してください。

（次頁に続く）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑬ 邦 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 (邦 楽 科) (志 願 者)	所定の用紙に記入してください。
⑭ 副科ピアノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 (副科ピアノ) (受 験 対 象 者)	所定の用紙に記入してください。
⑮ 音 楽 環 境 創 造 科 志 望 理 由 書	本学部所定 の様式 (音 楽 環 境 創 造 科) (志 願 者)	所定の用紙に記入してください。
⑯ そ の 他		平成25年度「日本留学試験」の受験者は、独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課〔〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 電話 03-6407-7457〕が発行する成績通知書を提出してください。

(注) 1. 本学部(前期日程)に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できませんが、「後期日程」の他大学・学部には出願できます。

2. 願書受理後は、いかなる事情があっても曲目・選択科目等の変更は一切認めません。

#### 4. 受験票

提出書類①～⑯までを完全に整えて提出した者に対して受験票を送付します。

(注) 1. 邦楽の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、尺八(琴古流)・尺八(都山流)は尺八として、通し番号で受験番号をふります。

2. 受験票が2月17日までに到着しないときは、音楽学部教務係へ連絡のうえ、2月21日までに書留郵便受領書をもって申し出てください。〔音楽学部教務係 電話 050-5525-2309〕

#### 5. 障害のある入学志願者の事前相談

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は、事前に連絡し、平成26年1月10日(金)までに申請書に医師の診断書を添え、音楽学部教務係に相談してください。その結果必要な場合には、志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行います。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者も、すみやかに音楽学部教務係に連絡してください。なお、申請書に記載する事項は、次のとおりとします。

- ①志望の学科・専攻    ②障害の種類・程度    ③受験上の特別な措置を希望する事項  
④修学上の特別な配慮を希望する事項    ⑤その他参考となる事項

## 6. 試験科目一覧

学科等	試験科目	専攻実技等 (14頁～41頁に記載)	音楽に関する基礎能力検査 (42頁～44頁に記載)				副科実技等 (45頁～46頁に記載)				面接 (47頁に記載)
			聴音書き取り	楽典	新曲視唱	リズム課題	副科ピアノ	副科ピアノ以外の副科実技	ピアノ新曲	和声	
	作曲科	○	○	○	○	○		○		○	
	声楽科	○	○	○	※	※	○				
器楽科	ピアノ	○	○	○	○	○					
	オルガン	○	○	○	○	○					
	弦楽器	○	○	○	○	○					
	管打楽器	○	○	○	○	○					
	古楽	○	○	○	○	○					
	指揮科	○		○			○		○		
	邦楽科	○		○						○	
	楽理科	△	○	○	○	○	○		○		
	音楽環境創造科	□								○	

自己表現を含む(41頁参照)←

- (注)1. 表中、楽理科の専攻試験(△印)は、学科試験(国語、外国語)、小論文(含・口述試問)として大学入試センター試験とは別に行います。
2. 表中、音楽環境創造科の専攻試験(□印)は、学力検査(音楽)、小論文とします。
3. 楽理科志願者が副科ピアノ以外の副科実技を選択した場合は、副科ピアノを受験する必要はありません。
4. 表中、声楽科の「新曲視唱・リズム課題」(※印)は、第3回専攻実技試験として行います。(15頁参照のこと)
5. 課せられた試験を1つでも受験しなかった者は、失格(不合格)となります。
6. 試験日時・試験曲等をまちがえた場合は、失格(不合格)となります。

## 7. 試験日程・試験場

### 1. 試験日程

各学科の試験は、入学試験実施日程表(別表2)のとおり実施します。

なお、第1回試験の日程等に関しては、音楽学部構内に掲示及びホームページで発表します。

本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/index.html>)では、掲示発表の1時間後に日程及び注意事項等を掲載する予定です。

**※本学では、追試験は実施しません。**

### 2. 試験場

試験は全学科、東京藝術大学音楽学部(東京都台東区上野公園12-8)において実施します。

(試験場案内図は裏表紙を参照してください。)

## 8. 合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について

### 1. 合否判定基準

#### 〔作曲科，邦楽科〕

専攻実技を重視します。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等，面接及び大学入試センター試験結果は総合判定に用います。

#### 〔声楽科，器楽科，指揮科〕

専攻実技を重視します。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等及び大学入試センター試験結果は，総合判定に用います。

#### 〔楽理科〕

本学部個別学力検査（国語・外国語），小論文（含・口述試問），音楽に関する基礎能力検査，副科実技等及び大学入試センター試験結果を総合して判定します。

#### 〔音楽環境創造科〕

大学入試センター試験成績は，1次判定に用います。大学入試センター試験成績及び個別試験の成績を総合して判定します。志望理由書は，面接時の参考とします。

### 2. 入学者選抜試験個人成績の開示について

平成26年度一般選抜入学試験の個人成績を本人に限って開示します。（合格者は除きます。）希望者は，次の方法により申し込んでください。

#### (1) 申込者

受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認めません。）

#### (2) 申込期間

##### ○受験者本人が来学する場合

平成26年6月2日から6月30日（土，日曜日は除きます。）

9：00～16：30（12：30～13：30は除きます。）

##### ○郵便で開示願いをする場合

平成26年6月1日から6月30日の消印のみ受け付けます。

#### (3) 申込方法

##### ○受験者本人が来学する場合

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入し，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号 [12cm×23.5cm] 封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，380円切手を貼付したもの）の3点を持参のうえ来学し，音楽学部教務係で申し込んでください。（後日「簡易書留郵便」で送付します。）

##### ○郵便で開示願いをする場合

居住地が遠隔地である等の理由で来学できない場合は，郵便での請求を受け付けます。

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入のうえ，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，380円切手を貼付したもの）の3点を東京藝術大学音楽学部教務係宛に簡易書留で郵送してください。（後日，「簡易書留郵便」で送付します。）

#### (4) 開示内容

##### ① 試験成績【得点】

大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示します。

##### ② 試験成績【順位】

第一次試験，第二次試験，第三次試験（作曲），及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示します。

ただし，各楽器等種類ごとの各合格者数が，少数（10人程度以下）の場合は開示しません。

##### ③ 最終次試験不合格者には，総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に，その科目名を開示します。

##### ④ 調査書（「指導上参考となる諸事項」，「備考」欄は除きます。）

#### (5) 問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部教務係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 電話050-5525-2309



## 9. 試験内容及び試験曲等

### ア. 専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
作曲		第1回	与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。(各3時間)
		第2回	(1) 厳格対位法：与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各一題を作る(3時間)。 (2) 与えられたコラール旋律により、バッハ様式で4声コラール一題を作る(2時間)。(計5時間)
		第3回	与えられた主題、指定された形式(*), 編成により楽曲を完成する。なお楽器編成は下記から指定する。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ (8時間。ただし、途中昼食休憩の1時間を別に設ける)。 *変奏曲、ロンド、ソナタ等の形式 ※形式及び楽器編成については当日指定する。

#### 【例題】

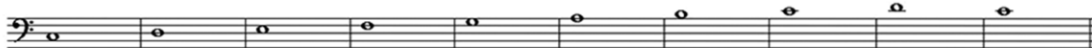
平成26年度入学試験より第2回試験内容変更に伴い、下記の例題を参考にすること。

#### 1. 厳格対位法

1. 次の定旋律(バス譜表)上に、任意のハ音記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。

それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。

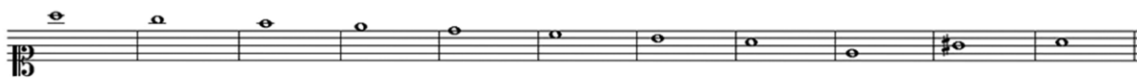
尚、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. 次の定旋律(ソプラノ譜表)を高声部として、3声の華麗対位法を作成せよ。

尚、対旋律は、バス、テノール、アルトのいずれかの音部記号を用いること。

定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



#### 2. コラール

次のコラール旋律をバス、テノール、アルト記号を用いて、四声体で作成せよ。

Choral



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
声    楽	ソプラノ (S)  アルト (メゾソプラノを含む) (A)	第1回	<p>〔課題選択曲〕</p> <p>志願者は、出願時に、次の頁に記載する課題選択曲の中から下記により合計8曲を選択し、提出すること。</p> <p>A. 日本歌曲 4曲</p> <p>B. 外国曲 4曲 (外国曲&lt;イタリア, ドイツ, フランス&gt;のグループに関係なく自由に選択して良い。)</p> <p>志願者の提出した8曲の中から、本学が4曲 (A.から2曲, B.から2曲)を試験当日に指定する。志願者は、その4曲の中から2曲 (A.から1曲, B.から1曲)を選び、暗譜で演奏する。</p>
	テノール (T)  バス (バリトンを含む) (B)	第2回	<p>〔自由曲〕</p> <p>あらかじめ出願時に提出した任意の声楽曲1曲を暗譜で演奏する。ただし、第1回の課題選択曲として選択し、提出した曲を第2回の自由曲として選ぶことはできない。(従って、次の頁に記載された曲であっても、課題選択曲として選択しなかった曲を自由曲として選んで良い。)</p>
		第3回	<p>(1) F.Wüllner : Chorübungen I (全訳)。(抜粋及び省略本は不可)の中から試験の際指定する。</p> <p>(2) 新曲視唱 簡単な旋律の視唱 (出題曲1曲。)</p> <p>(3) リズム課題</p>

科	声 種	第 1 回 試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
声		<b>課題選択曲</b>
		<p><b>A. 日本歌曲</b></p> <p>1. 小松 耕輔 母</p> <p>2. 瀧 廉太郎 秋の月</p> <p>3. 瀧 廉太郎 荒城の月 (第1節, 第2節のみ) 山田耕筰編曲</p> <p>4. 團 伊玖磨 秋の野 「六つの子供の歌」より</p> <p>5. 中田 喜直 おやすみ 「六つの子供の歌」より</p> <p>6. 成田 為三 浜辺の歌 (第1節, 第2節のみ)</p> <p>7. 信時 潔 北秋の 「沙羅」より</p> <p>8. 信時 潔 行々子 「沙羅」より</p> <p>9. 服部 正 野の羊</p> <p>10. 平井康三郎 平城山</p> <p>11. 弘田龍太郎 浜千鳥 (第1節, 第2節のみ)</p> <p>12. 山田 耕筰 鐘が鳴ります</p> <p>13. 山田 耕筰 かやの木山の</p> <p>14. 山田 耕筰 この道 (第1節, 第2節のみ)</p> <p>15. 山田 耕筰 野薔薇</p>
楽	ソ プ ラ ノ (S)	
	ア ル ト (メゾソプラノを含む) (A)	
	テ ノ ー ル (T)	
	バ ス (バリトンを含む) (B)	
		<p><b>B. 外国曲・イタリア</b></p> <p>1. Bellini, V. Malinconia, Ninfa gentile</p> <p>2. Bononcini, G. Per la gloria d'adorarvi</p> <p>3. Caldara, A. Sebben crudele</p> <p>4. Caldara, A. Selve amiche</p> <p>5. Cesti, M. A. Intorno all'idol mio</p> <p>6. Gasparini, F. Caro laccio, dolce nodo</p> <p>7. Gasparini, F. Lasciar d'amarti</p> <p>8. Paisiello, G. Nel cor più non mi sento</p> <p>9. Scarlatti, A. Caldo sangue</p> <p>10. Scarlatti, A. Già il sole dal Gange</p> <p>11. Scarlatti, A. Le violette</p> <p>12. Scarlatti, A. Sento nel core</p> <p>13. Scarlatti, A. Se tu della mia morte</p> <p>14. Tosti, F. P. Ideale</p> <p>15. Tosti, F. P. Sogno</p>
		(次ページに続く)

科	声 種	第 1 回 試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等			
声	ソ プ ラ ノ (S)  ア ル ト (メゾソプラノを含む) (A)	<b>B. 外国曲・ドイツ</b>			
		16. Beethoven, L.v.	Ich liebe dich so wie du mich	WoO 123	
		17. Brahms, J.	Dein blaues Auge	Op. 59-8	
		18. Mendelssohn, F.B.	Auf Flügeln des Gesanges	Op. 34-2	
		19. Mozart, W. A.	Das Veilchen	KV 476	
		20. Schubert, F.	An Silvia (第1節・第2節のみ)	Op. 106-4	
		21. Schubert, F.	Frühlingsglaube	Op. 20-2	
		22. Schubert, F.	Schäfers Klagelied	Op. 3-1	
		23. Schumann, R.	Die Lotosblume	Op. 25-7	
		24. Schumann, R.	Du bist wie eine Blume	Op. 25-24	
楽	テ ノ ー ル (T)  バ ス (バリトンを含む) (B)	<b>B. 外国曲・フランス</b>			
		26. Berlioz, H	Villanelle		
		27. Chausson, E.	Le colibri		
		28. Debussy, C.	Nuit d'étoiles		
		29. Fauré, G.	Clair de lune		
		30. Fauré, G.	Ici - bas !		
		31. Fauré, G.	Lydia		
		32. Fauré, G.	Mai		
		33. Fauré, G.	Notre amour		
		34. Gounod, Ch.	Chanson de printemps (第1節, 第3節のみ)		
		35. Hahn, R.	Si mes vers avaient des ailes		
					(次ページに続く)

科	声 種	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
---	-----	---------------------

**声楽科志願者に対する注意事項**

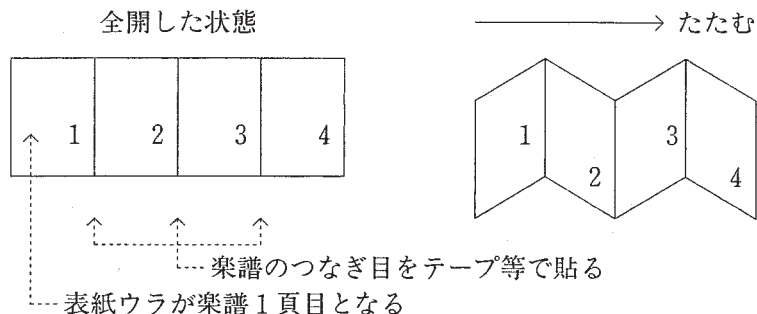
**1. 試験曲について**

- (1) 第1回課題選択曲と第2回自由曲とは同一系統でなくとも良い。例えば、第1回選択課題曲においてB.外国曲・イタリアを選んだとしても、第2回自由曲が日本歌曲であっても良い。
- (2) 試験の際の演奏は、第1回、第2回とも暗譜とする。(ピアノの伴奏)  
 第1回A. およびB. の課題選択曲ともいずれの調で演奏しても良い。ただし、B. 外国曲の課題選択曲は原語歌詞により演奏すること。第2回自由曲は、歌曲(および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること。(ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く。)
- (3) 志願者の演奏に与えられる時間は、次のとおりである。  
 第1回試験 2曲合わせて4分以内  
 第2回試験 4分以内  
 試験官の指示により演奏の途中で打ち切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。
- (4) 伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。
- (5) 志願者は、出願時提出する「受験曲目提出用紙」の写し(コピー)を、試験当日持参すること。

**2. 楽譜について**

- (1) 志願者が選択した第1回課題選択曲および第2回自由曲のためのピアノ伴奏用の楽譜は、志願者が出願時に提出すること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。
- (2) 提出する楽譜は、次の要領により整えること。
- ・ 楽譜の大きさは、1頁 縦30cm×横22cmまたはA 4縦とする。
  - ・ 楽譜には声部に加え、ピアノ伴奏部と歌詞が記載されていること。手書きの場合には、黒のペンまたはボールペンで清書すること。
  - ・ 楽譜は、印刷された楽譜でも良いが、大きさが前記の大きさと異なる場合には、規定の大きさの台紙に貼り付けること。
  - ・ 楽譜は、1冊に合本せず、1曲ごとに画用紙程度の厚さの表紙をつけ、必要事項を記入したうえ、「提出楽譜表紙貼付票(入学願書等提出書類に綴じ込み)」を表紙の左上隅に貼付すること。なお、表紙と同様な裏表紙を付ける必要はない。
  - ・ 楽譜は、伴奏者が見やすく、めくりやすくするために折本仕立て(下図参照)にして、各頁を全開できるように製本すること。

(4頁の楽譜の場合)



- (3) 楽譜の提出に当たっては本学部所定の「音楽学部声楽科伴奏楽譜提出封筒」により、「書留速達郵便」により郵送すること。この封筒内に、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封しないこと。同封した場合には、受験できないことがある。

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等																																																																																				
器	鍵盤 楽器	ピアノ (Pf)	<p><b>第一回</b></p> <p>a) J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第2巻より任意の1曲 (プレリュード及びフーガ) ※上記課題平均律クラヴィア曲集は全2巻からではなく、第2巻から任意の1曲となります。</p> <p>b) Chopin：練習曲 Op.10及び Op.25より任意の2曲を提出する。</p> <p>b) については、当日各自の抽選により1曲を演奏する。</p> <p>I) 演奏は、すべて暗譜とする。繰り返しは省略する。 II) 当日、時間の都合により一部省略させる事がある。 III) 曲順は、各自の自由とする。</p>																																																																																				
			<p><b>第二回</b></p> <p>下記 a), b) より、それぞれ選択し提出する。</p> <p>a) Beethoven：ピアノソナタより任意の1曲 (全楽章) b) 下記の作曲家群イ) 及びロ) からそれぞれ1曲以上を選び、イ) から10分以上、イ) 及びロ) を合わせて15分以上になるようにプログラムを組むこと。 イ) Schubert, Weber, Mendelssohn, Chopin, Schumann, Liszt, Brahms ロ) Fauré, Debussy, Ravel, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók なお、イ) の Chopin, ロ) の Debussy, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók については練習曲以外の作品を演奏すること。</p> <p>c) 課題曲演奏</p> <p>I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 8小節程度までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。 III) b) については、ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めない。 IV) 演奏曲順は、c), a), b) イ, b) ロとする。 V) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 VI) c) の課題曲は平成26年1月24日 (金) 16時以降に本学音楽学部教務係及び守衛所での配布のほか、本学ホームページに掲載する。</p>																																																																																				
器	鍵盤 盤 楽器	オルガン (Org)	<p><b>専攻実技試験で使用するオルガンの仕様</b></p> <table border="0"> <tr> <td>Pedal</td> <td></td> <td>13. Krummhorn</td> <td>8'</td> <td>26. Nasard</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>1. Subbass</td> <td>16'</td> <td>14. Tremulant</td> <td></td> <td>27. Superoktav</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>2. Principalbass</td> <td>8'</td> <td>15. I/P</td> <td></td> <td>28. Mixtur</td> <td>4f</td> </tr> <tr> <td>3. Rohrpommer</td> <td>8'</td> <td>16. II/P</td> <td></td> <td>29. Trompete</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>4. Choralflöte</td> <td>4'</td> <td>17. III/P</td> <td></td> <td>(III) Schwellwerk</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. Piffaro</td> <td>2f</td> <td>18. III/I</td> <td></td> <td>30. Rohrflöte</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>6. Dulcian</td> <td>16'</td> <td>19. I/II</td> <td></td> <td>31. Salicional</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>(I) Brustwerk</td> <td></td> <td>20. III/II</td> <td></td> <td>32. Vox coelestis</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>7. Holzgedackt</td> <td>8'</td> <td>(II) Hauptwerk</td> <td></td> <td>33. Principal</td> <td>4'</td> </tr> <tr> <td>8. Spillpfeife</td> <td>4'</td> <td>21. Quintade</td> <td>16'</td> <td>34. Blockflöte</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>9. Principal</td> <td>2'</td> <td>22. Principal</td> <td>8'</td> <td>35. Sesquialtera</td> <td>2f</td> </tr> <tr> <td>10. Terz</td> <td>1%</td> <td>23. Gemshorn</td> <td>8'</td> <td>36. Scharff</td> <td>3f</td> </tr> <tr> <td>11. Oktav</td> <td>1'</td> <td>24. Oktav</td> <td>4'</td> <td>37. Hautbois</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>12. Cymbel</td> <td>3f</td> <td>25. Holztraverse</td> <td>4'</td> <td>38. Tremulant</td> <td></td> </tr> </table> <p>[演奏補助装置] Handregister+2 Freie Kombinationen, Zungen ab, Mixtur ab (Klais 社製)</p>	Pedal		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2%	1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'	2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f	3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'	4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk		5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'	6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'	(I) Brustwerk		20. III/II		32. Vox coelestis	8'	7. Holzgedackt	8'	(II) Hauptwerk		33. Principal	4'	8. Spillpfeife	4'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'	9. Principal	2'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f	10. Terz	1%	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f	11. Oktav	1'	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'	12. Cymbel	3f	25. Holztraverse	4'	38. Tremulant	
			Pedal		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2%																																																																															
1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'																																																																																		
2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f																																																																																		
3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'																																																																																		
4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk																																																																																			
5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'																																																																																		
6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'																																																																																		
(I) Brustwerk		20. III/II		32. Vox coelestis	8'																																																																																		
7. Holzgedackt	8'	(II) Hauptwerk		33. Principal	4'																																																																																		
8. Spillpfeife	4'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'																																																																																		
9. Principal	2'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f																																																																																		
10. Terz	1%	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f																																																																																		
11. Oktav	1'	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'																																																																																		
12. Cymbel	3f	25. Holztraverse	4'	38. Tremulant																																																																																			
<p><b>第一回</b></p> <p>(1) J. S. Bach “Orgelbüchlein”より次の曲から当日指定する。 BWV599, BWV603, BWV604, BWV607, BWV608, BWV612, BWV615, BWV619, BWV623, BWV626, BWV629, BWV633, BWV635, BWV637, BWV641</p> <p>(2) V.Lübeck：Praeludium in E</p>																																																																																							
<p><b>第二回</b></p> <p>(3) F.Mendelssohn-Bartholdy：Sonate III op.65/3 (4) J.S.Bach：Praeludium et Fuga f BWV 534</p>																																																																																							
<p>(注1) (2)の V.Lübeck：Praeludium in E は暗譜演奏とする。 (注2) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 (注3) 各課題曲のレジストレーションについては、レジスタータイムに標準的な物を大学側が示すので、適宜参考にしてもよい。</p>																																																																																							

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器 弦	ヴァイオリン (Vn)	<p>(A) 音階 Carl Flesch : Scale system より ト短調 (G Minor) で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を下記を参照にし、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階、分散和音、分散3度、半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音 (ホ) フィンガード・オクターヴ (ヘ) 10度の重音</p>  <p>第一回</p> <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。 (次頁に続く)</p>
		楽 楽

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器 楽	弦 楽	ヴァイオリン (Vn)	第一回	(B) Ysaÿe : 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 (E Minor) Op. 27, No. 4 より第1楽章 Allemanda  (注) すべて暗譜とし, 使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。
			第二回	(A) J.S.Bach : 無伴奏ソナタ第1番ト短調 (G Minor) BWV1001 より第3楽章 Siciliana  (B) Vieuxtemps : Violin Concerto No.5 イ短調 (A Minor) Op.37 第1楽章 (カデンツァの前まで)  (注) すべて暗譜とし, 使用する楽譜の版は特に指定しない。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。




科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器	弦	<p>(A) 音階 音階 Carl Fresch : Scale System (ヴィオラ用に編曲された版 〈Carl Fischer 版〉より) ニ短調 (D Minor) で、次のイ、ロ、ハ、 ニの各種を下記を参照にし、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階、分散和音、分散3度、半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p>  <p>ヴィオラ 第一回 (Va)</p> <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。 (次頁に続く)</p>
楽	楽	

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等
器 弦			<p>(B) Campagnoli : 41 Caprices Op.22 より No.17 (最初から Var.2まで) ※繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(C) Palaschko : 20 Studies Op.36 より No.2 ※使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。</p>
楽 楽		<p>ヴ ィ オ ラ (Va)</p>	<p>(A) J.S.Bach : 無伴奏組曲第3番ハ長調 (C Major) BWV1009 (ヴィオラ用に編曲された版) より Allemande ※繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(B) C.Stamitz : Viola Concerto No.1 ニ長調 (D Major) より 第1楽章 Allegro (カデンツァ付き) ※ Henle 版を使用し、カデンツァはCadenza Bを演奏すること。 Cadenza Bの⑬はどちらを弾いても構わない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 (B)はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p>


科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器 弦	チ エ ロ (Vc)	<p>(A) 音階 J.Loeb : Gammes et arpèges~Billaudot 版より ト短調 (G Minor) 譜例を参照のこと。</p> <p>(イ) 4 オクターヴの音階 ♩ = 100 前後 </p> <p>(ロ) 4 オクターヴの分散3度 ♩ = 100 前後 </p> <p>(ハ) 4 オクターヴの分散和音 (注) テンポは自由 </p> <p>(ニ) 2 オクターヴの3度の重音 ♩ = 60 前後 </p> <p>(ホ) 2 オクターヴの6度の重音 ♩ = 60 前後 </p> <p>(ヘ) 2 オクターヴの8度の重音 ♩ = 60 前後 </p> <p>※指定されたテンポ、スラー及びフィンガリングで演奏すること。</p> <p>(B) Duport : 練習曲より No.9 (D Minor) (最初から95小節目まで) ※ Peters 版または IMC 版 (International Music Company) を 使用すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p> <p style="text-align: right;">(次頁に続く)</p>
		楽 楽

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器	弦	チ エ (Vc) 口	(A) J.S.Bach：無伴奏組曲第2番ニ短調 (D Minor) BWV1008より Allemande ※繰り返しは無しとする。使用する楽譜の版は特に指定しない。  (B) J.Haydn：Concerto ハ長調 (C Major) Hob.VII b：1より 第1楽章 (カデンツァは無し) ※使用する版は自由。  (注) すべて暗譜とする。 (B)はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。
楽	楽		

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器 弦	コントラバス (Cb)	<p>(A) 音階 ハ短調 (C Minor)</p> <p>♩ = 52~60</p>  <p>第一回</p> <p>※フィンガリングは自由とする。</p> <p>(B) Progressive Etüden für Kontrabass (Doblinger 版 Otto Rühm 編を使用すること) Heft 1より Nr.28 Moderato</p> <p>(C) 86 Etudes for String-bass by Joseph Hraběより Book I No.34 Maestoso</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。 楽器の貸与はしない。</p> <p>(次頁に続く)</p>
楽 楽		

※コントラバスの楽譜の版について  
指定された楽譜の版で入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡してください。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器 弦	コ ン ト ラ バ ス (Cb)	第 二 回	<p>Franz Anton Hoffmeister : Konzerto Nr.1 より            第1楽章 Allegro            第2楽章 Adagio (56小節目まで)            ※ Hoffmeister 版を使用すること。</p> <p>(注) ノーマルチューニングで演奏すること。            すべて暗譜とする。            協奏曲はピアノ伴奏付きで演奏すること。            (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。)            伴奏の前奏部分の省略は当日指定する。            時間の都合により一部を省略させることがある。            楽器の貸与はしない。</p>
	ハ ー プ (Hp)	第 一 回	<p>(A) Ed. Larivière : Exercices et Etudes pour La Harpe Op.9より            No.80 3eme.Etude            (B) F.Godefroid : 20 Etudes Merodiques より No.4            (C) F.Naderman : 7 Sonates Progressives より No.6全楽章            ※繰り返しは無しとする。</p> <p>(注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。            時間の都合により一部を省略させることがある。            演奏は(A)(B)(C)の順とする。</p>
楽 楽		第 二 回	<p>(A) V.Mortari : Sonatina Prodigio            (B) M.Tournier : Etude de Concert "Au Matin"</p> <p>(注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。            時間の都合により一部を省略させることがある。            演奏は(A)(B)の順とする。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等	
器	<p>◎木管楽器共通注意事項            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p><b>第1回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音階                全ての調の中より当日指定する。                ＊クラリネットは各調，次の音型（主和音）も演奏する。                (例)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>音感適性検査                ピアノで弾いた音に対して，それぞれの楽器で同じ音を奏する。ただし，楽器によってはこの試験を課さないこともある。</li> <li>課題曲 楽譜を使用してもよい。</li> </ul> <p><b>第2回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題曲 暗譜とする。                課題曲には，ピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は，本学において用意する。</li> <li>自由曲 各専攻楽器欄参考                楽譜を使用してもよい。</li> </ul>			
	打	木	フルート (Fl)	<p><b>第一回</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Bach : Sonate C-Dur BWV1033より 第3楽章 (無伴奏で演奏すること)</li> <li>N.Paganini : 24 Caprices Op.1より 第5番 (繰り返しなし)</li> </ol> <p><b>第二回</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>P.Hindemith : Sonate より 第2楽章 冒頭より23小節目まで演奏すること</li> <li>S.Prokofiev : Sonata Op.94より 第4楽章                冒頭より練習番号39の1小節目(121小節目)まで演奏し，そのまま止まらずに練習番号42(161小節目)へ入る。その際，練習番号42の半白前の32分音符4つ(レミファソ)も演奏する。</li> <li>次のa)～g)の中より任意の1曲を演奏すること。               <ol style="list-style-type: none"> <li>L.Berio : Sequenza I</li> <li>E.Bozza : Image</li> <li>C.Halfpfer : Debla (6分程度にカットすること)</li> <li>P.Hindemith : 8 Stücke より1, 2, 3, 5, 6, 8</li> <li>一柳 慧 : 忘れえぬ記憶の中に</li> <li>S.Karg-Elert : Sonata "Appassionata"</li> <li>I.Yun : Etüde より Nr.5</li> </ol> </li> </ol>
	楽	管	オボエ (Ob)	<p><b>第一回</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>L.Bassi : Twenty-Seven Virtuoso Studies for Saxophone or Oboe No.2, 3, 5, 7, 11, 12, 13, 15, 20, 21以上10曲の中より当日指定する (Carl Fischer 版)</li> </ol> <p><b>第二回</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>F.Krommer : Concerto in F major Op.52より第1楽章 (Musica Rara 版)</li> <li>G.Ph.Telemann : Zwölf Fantasien für Querflöte ohne Baß より 3番 h-Moll (何版にても可)</li> </ol>

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	管	木	クラリネット (Cl)	第一回 (1) E.Cavallini : 30 Capricci No.25~28の4曲 (Ricordi 版) (2) A.Uhl : 48 Etüden für Klarinette No. 3 ~ 8 の6曲 (Schott 版) (3) C.Stamitz : Klarinetten-Konzert Nr.3 B-Dur (何版にても可) より第1楽章, 第2楽章 (1)(2)(3)とも演奏箇所は当日指定する。
			第二回 (1) C.M.v. Weber : Konzert Nr.1 f-Moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマンのカデンツァを含む) (2) a) U.Delécluse : 14 Grandes Etudes pour la Clarinette sur des motifs d'œuvres classiques et modernes (Leduc 版) より第3, 6, 8, 9, 14番の中より任意の曲を1曲 b) A.Uhl : 48 Etüden für Klarinette (Schott 版) より No.12 c) G.Donizetti : Studie 最初から101小節目まで d) G.Jacob : Five Pieces for solo clarinet より 2. Waltz と 5. Scherzo and Trio a) ~ d) の中から, ひとつを選んで演奏すること。	
		打	ファゴット (Fg)	第一回 J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可) No.1~No.21の中から当日指定する。
			第二回 (1) K.Stamitz : Konzert F-Dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski 版) カデンツァあり (2) J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可) No.22~No.43より任意の1曲を演奏すること。	
楽	楽	管	サクソフォン (Sx)	第一回 (1) M.Mule : 48 Etudes d'après Ferling augmentées de 12 Etudes nouvelles en diverses tonalités より No.12, 13, 17, 22, 29, 30, 31, 36, 57, 58の中から当日指定する。 (2) P.Creston : Sonata 第1楽章 (Shawnee 版)
			第二回 (1) A.Glazounov et A.Petiot : Concerto en mi bémol (Leduc 版) より練習番号1から16までを演奏すること。 (2) a) P.Bonneau : Caprice en forme de Valse (Leduc 版) b) P.Creston : Sonata 第3楽章 (Shawnee 版) c) A.Désenclos : Prélude, Cadence et Finale より Prélude, Cadence (Leduc 版) d) P.M.Dubois : Concerto 第1楽章 (Leduc 版) e) J.Ibert : Concertino da Camera 第2楽章 <u>28</u> Animato molto から終わりまで (Leduc 版) f) R.Boutry : Divertimento 第2, 3楽章 (Leduc 版) g) J.Rueff : Sonate 第1楽章 (Leduc 版) a) ~ g) の中から, ひとつを選んで演奏すること。 (3) 初見視奏	


訂正について

平成25年10月10日(木)より配布している「平成26年度東京藝術大学音楽学部・大学別科入学者選抜試験試験内容及び課題曲」のサクソフォンの頁の一部に誤りがありましたので、以下のとおり再訂正します。






サクソフォン


(誤)	第一回 (2) P.Creston : Sonata 第1楽章 (Schawnee 版)
	第二回 (2) b) P.Creston : Sonata 第3楽章 (Schawnee 版)
↓	
(正)	第一回 (2) P.Creston : Sonata 第1楽章 (Shawnee 版)
	第二回 (2) b) P.Creston : Sonata 第3楽章 (Shawnee 版)



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	管	<p>◎金管楽器共通注意事項            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p><b>第1回</b>            (1) 音階（トランペットを除く）            全ての調の中より当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。</p>  <p>(例：ユーフォニアム)</p> <p>(2) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ただし、暗譜を指定されたもの以外は、当日、試験場に用意された楽譜を使用すること。</p> <p><b>第2回</b>            (1) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            課題曲には、ピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は、本学において用意する。</p>	
	楽	打	金
管			<p><b>第一回</b></p> <p>(A) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版)より長音階 P.65~P.80, 短音階 P.81 第70~81番まで上記の中より当日指定する。            (注) 長音階第16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69番は除く。            (B) C.Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (全音楽譜出版社版) (P.5~P.24) 第 6 番~34番の中より当日指定する。            (C) Th. Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes pour Trompette Cornet à Pistons ou Bugle Si<math>\flat</math> Nouvelle édition (Leduc 版) No.1, 2より当日指定する。</p> <p><b>第二回</b></p> <p>Théo Charlier : Solo de Concours (Schott 版)            (注) B<math>\flat</math> Trumpet 使用のこと</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	管	<p>◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通課題 E.Remington/Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より下記の部分</p>  <p>第7ポジションまで演奏のこと。(注) 暗譜とする。</p>	
		<p>テナー・トロンボーン (TTb)</p>	<p>第一回 C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.34, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 44の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。</p>
			<p>第二回 A.Guilmant : Morceau Symphonique Op.88 (Schott 版または Kalmus 版) (注) 暗譜とする。</p>
		<p>バス・トロンボーン (BTb)</p>	<p>第一回 C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.26, (37), (42), 43, 44, 46, 50, (54)の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。</p>
			<p>第二回 E.Ewazen : Concerto for Tuba or Bass Trombone 第1楽章 (ITA Southern 版) (注) 暗譜とする。</p>
		<p>ユーフォニアム (Euph)</p>	<p>第一回 C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より, 当日指定する。</p>
			<p>第二回 P.V.De laNux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc 版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) どちらの版でもよい (注) 暗譜とする。</p>
		<p>チューバ (Tu)</p>	<p>第一回 C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister 版) No.6~No.33の中より, 当日指定する。</p>
			<p>第二回 A.Lebedjew : Konzert für Tuba und Klavier (Konzert Nr.1) (Hoffmeister 版) (注) 暗譜とする。 ※第1回, 第2回とも, C管かB♭管を使用すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器	<p>◎打楽器共通課題</p> <p><b>第1回</b> 1. リズム感のテスト 2. 任意の打楽器を用いてリズムをとりながら日本歌曲「浜辺の歌（成田為三作曲）」を歌詞をつけて歌う。 3. 聴音 ピアノにより音を与え音名を答えさせる。</p> <p><b>第2回</b> 1. 任意の打楽器を用いて音楽表現を試みる。(楽器のセットアップを含めて2分以内) 2. 初見視奏</p>	
	<p>管</p> <p>打</p> <p>打楽器 (Pc)</p> <p>第一回</p>	<p><b>小太鼓</b></p> <p>(1) 小太鼓の基本打法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 9つ打ち, ロール ( , , <i>ff</i> のロール10秒)</p> <p>(2) C.Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental Solos (Ludwig Music 版) No.1~No.10, No.31~No.40 の中から当日指定する。</p> <p><b>マリンバ</b></p> <p>(1) 音階 下記の音型による各調の中より当日指定。 M.M. ♩ = 100~120</p>  <p>(2) 課題曲 J. S. Bach : Sonaten und Partiten BWV 1001-1006 für Violine solo (Edition Peters 版) より Partita III~Preludio, Loure (曲の一部を指定することもある)</p> <p>(3) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール</p> <p><b>ティンパニ</b></p> <p>(1) チューニング (当日指定した音程をつくること) (2) ロール <i>ff, pp</i>, ,  等 (3) S.Goodman : Modern Method for Timpani (Belwin-Mills 版) より P.24~P.35までの中から当日指定する。 (4) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール</p> <p style="text-align: right;">(次頁に続く)</p>

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器	管		<b>小太鼓</b> (1) A.J.Cirone：Portraits in Rhythm (Belwin-Mills 版) No.12, 22, 41, 45, 48, 50 の中より当日指定する。 (2) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (例)  (3) 三善 晃：会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集II)
			<b>マリンバ</b> (1) 自由曲 (2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 社版) P.4～P.11の中から当日指定する。
楽	打	打楽器 (Pc)	<b>ティンパニ</b> (1) L.v.Beethoven：Concerto for Violin and Orchestra ニ長調 冒頭から 6 小節間 A. Khachatorian：Gayne Ballet suite 1 より Sabre Dance 冒頭より 27 小節間 (注) いずれもオーケストラパートを歌いながらティンパニを奏すること。 (2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 社版) P.4～P.11の中から当日指定する。 (3) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (小太鼓の(2)譜例を参照のこと) (4) 三善 晃：会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集II)

科	専 攻 (声種・楽器等)	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
器		<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ(a'=415, 8'8'4', FF-f")のみとする。</p> <p>② バロックヴァイオリン, リコーダーに必要な伴奏者は同伴すること。</p> <p>③ すべての受験生は, 受験曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて, 出願とともに教務係に提出すること。</p> <p>④ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ(A4判に揃え, 左上端を1箇所ホチキスで止める), 出願とともに教務係に送付すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合, 出願書類は所定の封筒にて提出し, 当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき, 声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>
	古  チェンバロ (Cemb)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。 (当日一部省略を指示することがある。繰り返しはすべて省略)</p> <p>① J.S.Bach : Das wohltemperierte Klavier 第2巻より Präludium und Fuge H-dur Nr.23 (BWV 892)</p> <p>② J.S.Bach : Die Französische Suite Nr.1 d-moll (BWV 812) から, Allemande, Courante, Sarabande, Gigue を演奏する。 (なお, ①②とも初期稿, 後期稿など版の選択は自由とする。自分の演奏する稿の楽譜を提出すること。)</p> <p>③ 次の3曲の D.Scarlatti のソナタより, 任意の2曲。 K.26 (A-dur), K.115 (c-moll), K.132 (C-dur)</p> <p>④ F.Couperin : L'Art de toucher le clavecin 中の8つの Prélude から任意の4曲。</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を, チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	楽  バロックヴァイオリン (BVn)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① D.Castello, G.B.Fontana, G.P.Cima 又は同時代のイタリアの作曲家の作品から1曲</p> <p>② F.Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) Composition から1曲</p> <p>③ G.F.Handel, A. Corelli, J-M.Leclair のソナタより任意の1曲</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を, チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
楽  リコーダー (Rec)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① Jacob van Eyck 「笛の楽園」より任意の1曲 (ソプラノリコーダーを使用。ピッチは自由)</p> <p>② Jacques Martin Hotteterre : Suite 第2番 (Œuvre Second 1715) より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用し, 変ロ長調に移調して演奏。ピッチは a'=415。2つのガヴォットは1つの楽章と数える)</p> <p>③ Georg Friedrich Händel : Sonata HWV360, 362, 365, 367a, 369, 377より任意の一曲。(バロックタイプのトレブルを使用。ピッチは a'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を, チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
指揮		<b>第一回</b> (1) 聴音 (a)単旋律及び複旋律 (ピアノによる) (b)受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。 (2) 新曲初見視唱 (3) 課題曲 L.v.Beethoven : Symphonie Nr.1 op.21 当日、部分を指定して指揮させる。(ピアノによる)
		<b>第二回</b> (1) 課題曲 W.A.Mozart : Serenata Nr.13 ‘Eine kleine Nachtmusik’ KV525 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。 (弦楽合奏による) (2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏 (3) 器楽試験：弦楽器(ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。 (4) 適性検査 (ハーモニー感, リズム感等) (5) 音楽一般に関する試問 (注)(1) 第二回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。 (2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
---	----------------	------------

◎邦楽共通注意事項

受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。  
ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。

邦楽	三味線音	長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津元 清元	課題曲																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>外記猿（十世杵屋六左衛門 作曲）</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>夕月船頭（五世岸澤式佐 作曲）</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>鶴亀（四世岸澤古式部 作曲）</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>保名（清沢万吉 作曲）</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>鳥さし（初世清元齋兵衛 作曲）</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子（小鼓）</td> <td>鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃（大鼓）</td> <td>汐汲（杵屋正治郎 作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃（太鼓）</td> <td>外記猿（十世杵屋六左衛門 作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃（笛）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	志願部門	課題曲	長唄三味線	外記猿（十世杵屋六左衛門 作曲）	長唄	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）	常磐津三味線	夕月船頭（五世岸澤式佐 作曲）	常磐津	鶴亀（四世岸澤古式部 作曲）	清元三味線	保名（清沢万吉 作曲）	清元	鳥さし（初世清元齋兵衛 作曲）	邦楽囃子（小鼓）	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）	〃（大鼓）	汐汲（杵屋正治郎 作曲）	〃（太鼓）
志願部門	課題曲																					
長唄三味線	外記猿（十世杵屋六左衛門 作曲）																					
長唄	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）																					
常磐津三味線	夕月船頭（五世岸澤式佐 作曲）																					
常磐津	鶴亀（四世岸澤古式部 作曲）																					
清元三味線	保名（清沢万吉 作曲）																					
清元	鳥さし（初世清元齋兵衛 作曲）																					
邦楽囃子（小鼓）	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲）																					
〃（大鼓）	汐汲（杵屋正治郎 作曲）																					
〃（太鼓）	外記猿（十世杵屋六左衛門 作曲）																					
〃（笛）																						
邦楽	囃子	第一回	<p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p> <p>A. 自由曲1曲 明治45年（西暦1912年）以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。 時間を要する曲で、上・下又は上・中・下に分かれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子</td> <td>長唄三味線又は長唄</td> </tr> </tbody> </table>	志願部門	選択分野	長唄三味線	長唄	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長唄	長唄三味線	常磐津	常磐津三味線	清元	清元三味線	邦楽囃子	長唄三味線又は長唄			
志願部門	選択分野																					
長唄三味線	長唄																					
常磐津三味線	常磐津																					
清元三味線	清元																					
長唄	長唄三味線																					
常磐津	常磐津三味線																					
清元	清元三味線																					
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄																					
邦楽		第二回	<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>三味線の試験においては、受験者には三味線のみをひかせ、唄・浄瑠璃は係員が担当する。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。</li> <li>邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。</li> <li>上記1.及び2.にかかわらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。</li> <li>邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。</li> <li>邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。</li> <li>唄、浄瑠璃の試験に関しては扇子を持参すること。</li> <li>邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問を行うことがある。</li> <li>邦楽囃子第二回Bにおいては、譜面使用可とする。</li> </ol>																			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
邦     楽	日本舞踊	第一回	課題曲2曲 男形 長唄「越後獅子」(芳村伊十郎全集) 女形 清元「子守」(清元志寿太夫全集)  本学で用意した録音テープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 (注)長唄はコロンビア版、芳村伊十郎長唄全集、清元はビクター版 清元志寿太夫全集による録音テープを使用する。
		第二回	A. 自由曲1曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参、提出し、試験官の指定する 箇所を踊る。 B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。 C. 本学で用意した音を聴いて、その場で振りをつける。
		(注) 第一回、二回とも小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。	
	箏曲	山田流 第一回	箏：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 『白の聲』 三世山登松齡 作曲 『江の島曲』 山田検校 作曲 『千鳥曲』 吉沢検校 作曲
		山田流 第二回	箏：自由曲1曲 ※第1回受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第1回で受験した曲を除き、課題曲としてあげられている曲を選択できる。) ※別科を併願する場合は、別科課題曲を除く。  三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 『秋の七草』 文部省音楽取調掛 作曲 『子の日の遊』 二世山木太賀 作曲
	生田流	生田流 第一回	箏：課題曲1曲 下記の中から2曲を選択し、試験当日そのうちの1曲を受験者が抽選により決定する。 『御山獅子』 菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付 一は壱越(D) 『けしの花』 菊岡検校 作曲・松崎検校 箏手付 一は壱越(D) 『春の曲』(本手) 吉澤検校 作曲・松阪春栄 補作 一は壱越(D) 『桜川』 光崎検校 作曲 一は双調(G)
生田流 第二回	箏：自由曲1曲 1909(明治42)年以降に作曲、又は手付けされた曲。 ただし、楽章単位ではなく1曲単位で受験すること。  三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 『ながらの春』 菊岡検校 作曲 Iの糸は壱越(D) 『六段の調』 八橋検校 作曲 Iの糸は壱越(D) 『都踊』 宮城道雄 作曲 Iの糸は壱越(D) (次頁に続く)		



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等			
邦	箏曲	<p><b>(箏曲共通注意事項)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一回・第二回試験とも暗譜で演奏する。</li> <li>2. 演奏は、箏は立奏(椅子)で行う。三絃は座奏でも立奏(椅子)でもよい。</li> <li>3. 演奏箇所は試験の際に指示する。</li> <li>4. 本手・替手(高音・低音)のあるものは、どちらかを受験曲目提出用紙に明記すること。</li> <li>5. 邦楽一般及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。</li> </ol> <p><b>(山田流試験に関する注意事項)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第二回試験(箏)は、曲名、作曲者名を受験曲目提出用紙の所定欄に明記すること。</li> <li>2. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏・三絃の使用も可能。なお、受験曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の別を記入すること。</li> </ol> <p><b>(生田流試験に関する注意事項)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。</li> <li>2. 三絃は各自持参を原則とするが、本学で用意した楽器を使用することもできる。(願書に、持参・借用の区別を明記すること。)</li> </ol>			
	尺八	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="531 840 587 1003">第一回</td> <td data-bbox="587 840 1433 1003"> <p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流『三谷菅垣』『雲井獅子』 都山流『木枯』『朝風』(流祖中尾都山 作曲) ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1003 587 1556">第二回</td> <td data-bbox="587 1003 1433 1556"> <p>課題曲 1曲 尺八本曲 琴古流『一二三鉢返調』 都山流『峰の月』(流祖中尾都山 作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 『都の春』『近江八景』『夕顔』『茶音頭』</p> <p>②外曲新曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 『赤壁賦』(中能島欣一 作曲) 『春の訪れ』(宮城道雄 作曲) 『春の海』(宮城道雄 作曲)</p> <p>※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。 ※琴古流の『赤壁賦』は、邦楽社刊箏譜『赤壁賦』(中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること(選択曲②は除く) イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p> </td> </tr> </table> <p>(注)1. 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。 2. 全曲暗譜とする。</p>	第一回	<p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流『三谷菅垣』『雲井獅子』 都山流『木枯』『朝風』(流祖中尾都山 作曲) ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>	第二回
第一回	<p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流『三谷菅垣』『雲井獅子』 都山流『木枯』『朝風』(流祖中尾都山 作曲) ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>				
第二回	<p>課題曲 1曲 尺八本曲 琴古流『一二三鉢返調』 都山流『峰の月』(流祖中尾都山 作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 『都の春』『近江八景』『夕顔』『茶音頭』</p> <p>②外曲新曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 『赤壁賦』(中能島欣一 作曲) 『春の訪れ』(宮城道雄 作曲) 『春の海』(宮城道雄 作曲)</p> <p>※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。 ※琴古流の『赤壁賦』は、邦楽社刊箏譜『赤壁賦』(中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること(選択曲②は除く) イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>				

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
邦	能  楽  (囃子を除く)	<p>(イ) シテ方 (観世流及び宝生流)  (A)謡曲「紅葉狩」サシより中入れまで、及び  「鶉飼」待謡より終わりまで  (B)仕舞「田村」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方 (下掛宝生流)  (A)謡曲「紅葉狩」サシより中入れまで、及び  「鶉飼」待謡より終わりまで  (B)仕舞「春栄」</p> <p>(ハ) 狂言方 (和泉流)  (A)謡曲「風車」及び「柳の下」  (B)小舞「花の袖」</p> <p>ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p> <p><b>第二回</b>  謡曲及び仕舞又は小舞自由曲1曲ずつ (ただし、第1回および別科の課題曲を除く。)謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p> <p>(注)1. 第一回、第二回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。  2. 能楽について簡単な試問を行うことがある。  3. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</p>
楽	能  楽  囃子	<p><b>第一回</b>  囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。  (イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段  (ロ) 小鼓 (幸流) 「天鼓」キリ  (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ  (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ</p> <p><b>第二回</b>  囃子 自由曲 (ただし、第1回及び別科の課題曲を除く。)  謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし観世流、または宝生流のいずれかで受験すること。)  (イ)「紅葉狩」 サシより中入れまで  (ロ)「鶉飼」 待謡より終わりまで  (ハ)「竹生島」 クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで</p> <p>(注)1. 上記の曲を一噌流、幸流、高安流、観世流 (太鼓) のいずれかで受験すること。  2. 笛、小鼓、太鼓の試験に際しては、各自持参の楽器を使用してもよい。ただし、大鼓については、楽器を使用しない。  3. 地謡の流儀は観世流、または宝生流のいずれかを選ぶこと。  4. 能楽について簡単な試問を行うことがある。  5. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等	
邦楽	雅楽	笙	第一回	<p>(A) 下記の3曲の中より1曲を指定し、暗譜による「唱歌テスト」を行う。</p> <p>(B) 下記の3曲の中より1曲を指定し、暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。</p>
				<p>第一回試験課題曲</p> <p>1. 平調 「陪臚」</p> <p>2. 黄鐘調「拾翠楽」</p> <p>3. 盤渉調「越殿楽」</p>
			第二回	<p>(C) 下記の課題曲により、第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。</p> <p>(D) 「舞」の為のリズムテスト</p> <p>(E) 「雅楽」についての試問をする。</p>
<p>第二回試験課題曲</p> <p>1. 壱越調「賀殿急」</p> <p>2. 双調 「胡飲酒破」</p> <p>3. 太食調「抜頭」</p>				
<p>(注) ○ 雅楽専攻で受験できる楽器は、「笙」,「箏」,「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。</p> <p>○ 実技試験は、管絃吹で行う。</p>				
楽理	/		第一回	<p>1. 国語 (試験時間：2時間) 国語総合・現代文・古典</p> <p>2. 外国語 (試験時間：2時間) 英語 (I・II・リーディング・ライティング), ドイツ語, フランス語のうち1科目を選択する。</p>
			第二回	<p>小論文 (含, 口述試問) (試験時間：筆記2時間) 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。(課題は当日出題する。)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
音 楽 環 境 創 造		第一回	学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分）
		第二回	<p>小論文および面接（自己表現を含む）</p> <p>●小論文（120分）</p> <p>●面接（20分）自己表現を含む。</p> <p>○自己表現 下記の1～3のいずれかを選択し（受験票に記入）、制限時間内（5分）で行うこと。</p> <p>1. 演奏（声を含む） ※ 音楽能力・音楽的感性をアピールしたい場合</p> <p>2. パフォーマンス（身体表現、舞踊、朗読等） ※ 身体表現能力・演劇的感性をアピールしたい場合</p> <p>3. プレゼンテーション （パネルやチャート図等によるプランの提示、楽譜等の作品、研究計画書等） ※ 演奏技術・身体技能よりも、企画・アイデアをアピールしたい場合</p> <p>（自己表現の注意事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない）</li> <li>・セッティングを含めて5分以内で終了すること。</li> <li>・ピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。</li> <li>・AV機器（CD・オーディオカセット・DVD・VHSビデオ）は用意されている。</li> <li>・コンピュータを持参して使用することは可能だが、機器についてのサポートは一切与えられないので、全て自己責任にて用意すること。</li> <li>・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目、靴、衣装であること。 （パフォーマンスで使用できる広さは、幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。）</li> </ul>

## ●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について

音楽環境創造科志願者は、志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。

## イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等

### ① 音楽に関する基礎能力検査

#### 1. 筆記試験

##### a) 聴音書き取り (試験時間: 約30分)

- |            |   |   |
|------------|---|---|
| 単旋律 (1題)   | } | 作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。<br>(43ページの例題程度) |
| 複旋律 (1題)   |   |   |
| 四声体和声 (1題) |   |   |

##### b) 楽典 (試験時間 1時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式論等作曲法の内容は含まない。

#### 2. 実技試験

##### a) 新曲視唱 1題

歌詞を伴わない無伴奏の初見唱。作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。  
(44ページの例題程度)

##### b) リズム課題 1題

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(44ページの例題程度)

聴音書き取り例題

単旋律

♪ = 52

複旋律

♪ = 54

四声体和声

♪ = 52

新 曲 視 唱 例 題

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩=60

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

●声楽科志願者

♩=48

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

リ ズ ム 課 題 例 題

手で拍を振りながら，下記のリズムを音名で（「タ」等のシラブルも可）読みなさい。

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩=60 ca.

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

●声楽科志願者

♩=60 ca.

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

② 副科実技等

1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科 器楽科 (オルガンのみ) 指揮科 楽理科 (ピアノでの志願者)</p>	<p>次の(イ), (ロ), (ハ)から1つ選択すること。            (イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻, 第2巻より任意の1曲 (Praeludium 及び Fuga の両方を準備する事。)            (ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten            Op. 2 No.1, 2, 3            Op. 7            Op.10 No.1, 2, 3            Op.13            Op.14 No. 1, 2            Op.22            )の中から1曲を選び, その第1楽章            (ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10, 25より任意の1曲            (注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p>声楽科 器楽科 (弦楽, 管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No.39の中から当日指定する。            同一調号による長調と短調            但し速度を ♩ = 100程度以上とする。            (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後, 続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。            (2) 下記のソナチネ, ソナタより1曲を選び, その第1楽章。            Kuhlau : Op.20 No.1, 2, 3 Op.55 No.1, 2, 3            Clementi : Op.36 No.2, 3, 4, 5, 6            Haydn : Hob.XVI/35 (C-dur)            Mozart : KV 545 (C-dur)            Beethoven : Op.49 No.1 (g-moll), No.2 (G-dur)            Dussek : Op.20 No.1            (注) (1), (2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>



## 2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）  ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽器・管楽器の志願者が出願できる楽器に限る。  試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p><b>ヴァイオリン課題曲</b>  W. A. Mozart : Violin Concerto No.3 in G major, K.216 より  第1楽章, Allegro  (注) Cadenza を除く。暗譜とし、伴奏なし。</p> <p><b>邦楽課題曲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三味線  「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲）</li> <li>・箏曲（山田流）  「秋の七草」（音楽取調掛作）</li> <li>・箏曲（生田流）  「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝壺越(D)</li> <li>・尺八（琴古流・都山流）共通  「六段の調」（八橋検校作曲）</li> <li>・邦楽囃子  「五郎時致」（三升屋二三治作詞，十代目杵屋六左衛門作曲）  (注) 四拍子の中より一つを選択する。</li> <li>・能楽囃子  笛 「中ノ舞」  小鼓「羽衣 クセ」  大鼓「羽衣 クセ」  太鼓「鶴亀 キリ」</li> <li>・雅楽  平調「越天楽」</li> </ul> <p>※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。</p>

## 3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科</p>	<p>初見奏</p>

## 4. 和声

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>指揮科</p>	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。試験時間1時間30分。与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。指揮科課題・楽理科課題とも近親転調を含む。</p>

## ウ. 面接

作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の各志願者に対して面接を行い、声楽科、器楽科、指揮科及び楽理科の各志願者に対しては、面接を行わない。

音楽環境創造科の面接には、「自己表現」を含む。(41頁参照)

## エ. その他

音楽環境創造科の志願者は、「志望理由書」(800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出しなければならない。「志望理由書」は、面接時の参考とする。

## 10. 合格者発表

- 1. 中間合格者発表** 入学試験実施日程表(別表2)の各専攻の当該日です。音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。合格者の発表は、受験番号により行います。なお、来学する場合は**本学部受験票及び大学入試センター試験受験票**を必ず持参してください。
- 2. 最終合格者発表** 平成26年3月13日(木)13時より音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。電話・電子メール等による問い合わせには、一切応じません。なお、最終合格者は、以下のどちらかの方法により入学手続書類を受け取ってください。
  - ① 合格者発表と同時に入学手続きに関する書類を13時から16時まで交付します。本学部の「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」(私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」)を必ず持参して、受け取ってください。(代理人可)
  - ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、3月13日中に大学から合格者へ入学手続書類を発送します。郵送により入学手続書類を本学へ提出する方については、合格発表時に指示する方法で、3月15日(土)17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡してください。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものと取り扱います。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/index.html>)でも合格者の受験番号を掲載します。(中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載します。)

入学試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定です。(中間発表：各発表日17時頃、最終発表：3月13日14時頃)

※時間未定となっている中間発表についても、掲示発表1時間後に掲載します。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

- 3. 追加合格者について** 入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合、3月28日から3月31日までの間に追加合格者を決定する場合がありますので、この期間本学部から連絡がとれるようにしてください。なお、この発表は本学部から当該者に対して電話連絡等により行い、受験者からの問い合わせには一切応じません。

## 11. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行います。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付します。なお、入学手続の際、**大学入試センター試験受験票（再発行を受けた者は、再発行されたもの。私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）**を必ず持参してください。

### 1. 入学手続期間 平成26年3月14日(金)及び3月15日(土)

3月14日(金) 10:00~16:00 (12:00~14:00を除く)

3月15日(土) 10:00~17:00 (12:00~14:00を除く)

上記の期間に手続に来ることが出来ない場合は、合格発表時に指示する方法で、3月15日17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡してください。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

### 2. 場 所 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

### 3. 納 付 金

入学金・・・・・・・・・・282,000円(予定額)

(注) 入学手続終了者が平成26年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しません。

\*参考までに、入学手続時には上記入学金の他に次のような経費の納入が必要となります。

○音楽教育振興会費・・・・・・・・・・60,000円

(音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

○学生教育研究災害傷害保険料(4年間)・・・3,300円

○同声会費(同窓会費)・・・・・・・・・・60,000円

※授業料(前期分)・・・・・・・・267,900円(年額535,800円)[予定額](国費外国人留学生は納入不要)

- (注) 1. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までにお支払いください。  
2. 前期分または年額(前期および後期分)のいずれかにより納入することができます。  
3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

### 4. 提 出 書 類 誓 約 書……………1通(所定用紙を交付します。)

卒業証明書……………1通(平成26年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ)

写 真……………2枚(脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm)

そ の 他……………合格者発表時通知します。

### 5. 留 意 事 項

- (1) 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱います。
- (2) 他の国公立大学・学部の入学手続をした者は、これを取消して本学部の入学手続をすることはできません。
- (3) 本学部の入学手続をした者は、これを取消して他の国公立大学・学部の入学手続をすることはできません。

## 12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の納入前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行ってください。

(納入後の各種申請は出来ないので注意してください。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料納入の準備は事前に十分に行っておいてください。)

免除・猶予の申請要件は次のとおりです。

### 1. 入学料免除

- (1) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (2) (1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

### 2. 入学料徴収猶予

- (1) 経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

### 3. 授業料免除

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

### 4. 授業料徴収猶予

- (1) 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、学生支援課 (TEL 050-5525-2069) に照会してください。

## 13. 奨学金、特待生について

本学では、入学試験、在学中の実技試験等において特に優れた成績を納めた者に対し、各種の奨学金、特待生制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援しています。これらは返済不要の給付型奨学金です。制度の詳細については本学ホームページをご確認ください。

### 1. 入学試験成績により採用されるもの

むねつぐとくじ  
宗次徳二特待奨学生 [対象：ピアノ、弦楽、管打楽／初年度給付額：100万円／給付期間：最長4年間]

※宗次徳二特待奨学生を希望する受験生は、入学願書の所定欄にその旨記入してください。

### 2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

長谷川良夫賞 [対象：作曲／給付額30万円]    大賀典雄賞 [対象：声楽、ピアノ／給付額100万円]

松田トシ賞 [対象：声楽／給付額20万円]    アリアドネ・ムジカ賞 [対象：ピアノ／給付額30万円]

藝大クラヴィア賞 [対象：ピアノ／給付額10万円]    宮城賞 [対象：邦楽／給付額10万円]

常英賞 [対象：邦楽／給付額10万円]    武藤舞奨学金 [対象：音楽環境創造／給付額30万円]    他

### 3. その他の支援制度

上記以外にも、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、青山財団、よんでん文化振興財団などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されています。

#### 14. 入学手続きに係る郵送による受付について

本学では、最終合格者に係る入学手続きにおいて、直接来学による受付と並行して郵送による受付も行います。

郵送による入学手続き書類の到着期限は3月19日（水）です。

## II 別科

1. 出願資格 — 音楽学部と同様です。
2. 修業年限 — 2年
3. 出願手続

### 1. 願書受付期間

平成26年1月27日(月)～2月5日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とします。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものは受理しないので注意してください。

### 2. 検定料

① 金額：9,800円

国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、必ず提出してください。

② 振込期間：平成26年1月6日(月)～平成26年2月5日(水)

③ 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)のいずれかの方法により振り込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでのお振込み

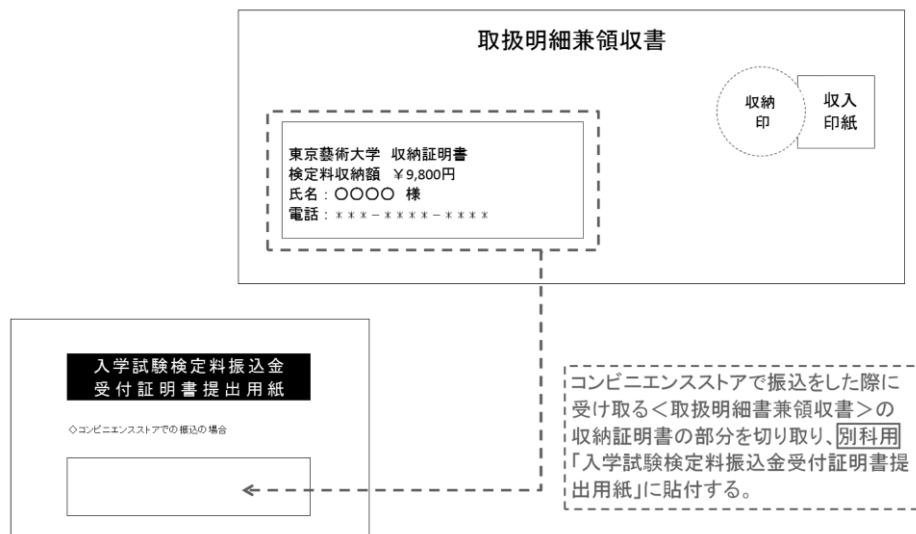
- ・ 8頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・ 振込時に、この要項に添付してある「振込依頼書(A・B・C票)」に記載されている「整理番号」(5桁)の入力が必要になります。
- ・ コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書〉の「収納証明書」の部分を取り取り、「入学試験検定料振込金受付証明提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・ コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

(イ) 金融機関窓口でのお振込み

- ・ この要項に添付してある「振込依頼書(A・B・C票)」を使用してください。
- ・ 取扱金融機関は下記の通りです。  
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等  
(金融公庫では振り込めないで注意してください)
- ・ 振込時には別途手数料が必要です。  
(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になります)
- ・ 金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振込は受け付けません。
- ・ 振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。

「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」への貼付について

(ア) コンビニエンスストアでの振込の場合



(次頁に続く)

(イ) 金融機関窓口での振込の場合

**A票 振込依頼書**  
 (「東京芸術大学」入学試験検定料)  
 振込期(金融機関取扱期) 平成〇年〇月〇日(〇)～平成〇年〇月〇日(〇)  
 ご依頼日 平成 年 月 日 電 簿 帳 手 数 料 円 角 分  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部 金額 円 角 分 ¥9800  
 受取人 普通 口座番号 151793  
 トウキョウガイジュウダイガク  
 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口  
 整理番号 入学者氏名  
 収入印紙

**B票 振込金受取書**  
 (「東京芸術大学」入学試験検定料)  
 金額 円 角 分 ¥9800  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部  
 受取人 東京芸術大学  
 整理番号  
 志願者氏名  
 収入印紙

**C票 「東京芸術大学」入学試験検定料等振込金受付証明書**  
 金額 円 角 分 ¥9800  
 振込先 三井住友銀行 東京公務部  
 受取人 東京芸術大学  
 整理番号  
 志願者氏名  
 収入印紙

※【取扱金融機関へのお断り】  
 1. 名称の整理番号は、氏名欄部へ連絡して打電してください。  
 2. 収入印紙はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。  
 3. B・C票は、必ず左欄へお断りください。  
 4. 三井住友銀行本支店にての振込は手数料が無料となります。  
 (ATM等は不可です)

**入学試験検定料振込金  
 受付証明書提出用紙**

○銀行等金融機関での振込の場合

○票 「東京芸術大学」入学試験  
 検定料振込金受付証明書

振込をした際、返却されたB・C票のうち、  
 C票について切り離し、志願者氏名を記  
 入のうえ、**別料金**「入学試験検定料振込金  
 受付証明書提出用紙」に貼付する。

(ウ) 海外からの送金の場合

送金時に銀行から受け取る振込明細を貼付してください。

※ 海外からの検定料送金について

- ・海外在住の受験者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って外国送金してください。
- ・送金にかかる各種手数料はすべて志願者が支払ってください。
- ・万が一入金額に不足が生じた場合、出願を受理することは出来ませんのでご注意ください。
- ・振り込み後、「外国送金依頼書(送金銀行の受領印またはサイン入り)」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出してください。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advise and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Due remitter)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Due remitter)
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (Swift code)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan

(次頁に続く)

受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・受験学部 (研究科) ・受験学科 (研究分野・領域) ※送金人が志願者本人でない場合は、志願者の氏名

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった (願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった) 場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納証明書」または「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係 (郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8) まで郵送してください。

①名前、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義 (カタカナ)・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月かかります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。



### 3. 提出書類

- (1) 別科志願者の提出書類は、学部志願者提出書類(①～②, ④～⑧)(9～10頁参照)に関しては、学部志願者と同様ですので、同頁記載の注意事項参照のうえ必要書類を整えて提出してください。
  - 入学願書等については、別科所定のものを使用してください。
  - 「検定料振込依頼書」(A・B・C票)及び「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」については、別科所定のものを使用してください。
  - 調査書は出身高等学校長が作成したものを提出してください。また、婚姻等により調査書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
  - 別科志願者には、大学入試センター試験を課していませんので、「大学入試センター試験成績請求票」の提出は不要です。
- (2) 声楽専修志願者は、学部「声楽科志願者に対する注意事項」(18頁)を参照してください。
- (3) 学部と併願受験する場合は、(55頁参照)それぞれ検定料を納入し、提出書類も別に作成し、学部、別科別々の封筒で提出しなければなりません。

声楽専修用の伴奏楽譜を提出する際、学部用の「伴奏楽譜送付用封筒」を使用してはいけません。**任意の封筒に朱書で「別科声楽専修伴奏楽譜」と表書きしたもの**を使用し、別科入学願書と別便で、同時に**速達書留**で郵送してください。
- (4) 声楽専修・オルガン・コントラバス・ハープ・打楽器・古楽の各志願者は、「自由曲目提出用紙」を提出してください。
- (5) ピアノ志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (6) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元及び邦楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (7) 箏曲(山田流)・箏曲(生田流)・尺八の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (8) 能楽・能楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。

### 4. 受験票

所定の様式を使用してください。

- (注)1. 邦楽専修の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、通し番号で受験番号をふります。
2. 受験票が2月17日までに到着しないときは、音楽学部教務係へ連絡のうえ、2月21日までに書留郵便受領書をもって申し出てください。〔音楽学部教務係 電話050-5525-2309〕

### 5. 試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

#### 4. 専修部門及び募集人員

専 修		募 集 人 員
声	楽	} 30 名
器	ピ ア ノ	
	オ ル ガ ン	
楽	弦 楽 器	
	管 打 楽 器	
	古 楽	
邦	楽	

(注)1. 別科への出願は、志願する専修1つに限ります。

- ① 声楽専修志願者は、次の中から1声種を選んで出願してください。  
ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）
- ② 弦楽器及び管打楽器志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願してください。  
（弦楽） ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ  
（管打楽） フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器
- ③ 古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願してください。  
バロック声楽、バロックヴァイオリン、バロックチェロ、リコーダー、チェンバロ、バロックオルガン、フォルテピアノ
- ④ 邦楽専修志願者は、次の中から1種を選択し、出願してください。  
長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元、邦楽囃子、箏曲（山田流）、箏曲（生田流）、尺八、能楽、能楽囃子

#### 2. 別科と音楽学部の併願受験について

別科と音楽学部の併願受験について、以下のとおり取り扱います。


- ① 併願を認める専修  
別科の声楽専修・器楽（管打楽器）専修及び邦楽専修の各志願者にあつては、それぞれ音楽学部声楽科・器楽科（管打楽器専攻）及び邦楽科と併願受験できます。
- ② 併願を禁止する専修  
別科の器楽（ピアノ、オルガン、弦楽器、古楽）専修の各志願者は、それぞれ音楽学部の各学科・専攻を併願受験することはできません。これらについては、志願する別科の専修と音楽学部の学科・専攻が異なる場合でも併願受験はできません。

#### 3. 本大学及び他大学との二重学籍は認めないので、出願時に十分考慮してください。

5. 試験内容及び試験曲等

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び試験曲等」に記載された内容についてのみ行います。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等
声 楽	ソプラノ(S) アルト(A) (メゾソプラノを含む) テノール(T) バス(B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を演奏する。(オペラ、オラトリオの aria は原調。) 暗譜のこと。 (注) 1. 伴奏楽譜は各自提出しなければならない。 2. 演奏する曲は学部声楽科課題曲と同じものでも差しつかえない。 3. 演奏時間は4分以内とする。 4. 伴奏者は本学で用意する。
	ピアノ (Pf)	次の8曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第2番 イ長調 作品2-2 ・第3番 ハ長調 作品2-3 ・第4番 変ホ長調 作品7 ・第7番 ニ長調 作品10-3 ・第11番 変ロ長調 作品22 ・第16番 ト長調 作品31-1 ・第17番 ニ短調 作品31-2 ・第18番 変ホ長調 作品31-3 I) 演奏は暗譜とする。 II) 時間の都合で演奏を一部省略させることがある。 III) 繰り返しは省略すること。
器 楽	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
	ヴィオラ (Va)	(A) C.Stamitz: Viola concerto No.1 ニ長調 (D-dur) より第1楽章 Allegro moderato (カデンツァを含む) (B) F.A.Hoffmeister: Viola concerto ニ長調 (D-dur) より第1楽章 Allegro (カデンツァを含む) (注) Henle 版を使用し、カデンツァは Cadenza A を演奏すること。すべて暗譜とする。 時間の場合により一部を省略させることがある。 (A)(B)のどちらかを選択し演奏する。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) L.Boccherini: Concerto B-dur 第1楽章 (Grützmacher 編) Cadenza は除く。 (B) J.Haydn: Concerto C-dur 第1楽章 (楽譜は何版を使ってもよい) Cadenza は除く。 (C) C.Saint-Saëns: Concerto a-moll Op.33 第1楽章 (D) E.Lalo: Concerto d-moll 第1楽章 (初めから117小節 Lento まで) (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハープ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等	
器	◎管楽器共通注意事項 (1) 音階 各調の中より当日指定する。ただし、金管楽器は音楽学部に進じる。 (2) 課題曲 ただし伴奏はなしとする。 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。		
	木管	フルート (Fl)	J.Ibert : Pièce
		オーボエ (Ob)	C.Ph.E.Bach : 無伴奏ソナタ g-moll 第1, 2楽章 (何版にても可) (注) 原曲は Sonata a-Moll Wq.132 無伴奏フルートソナタ
		クラリネット (Cl)	C.M.v.Weber : Konzert Nr.1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ペールマンのカデンツァを含む)
		ファゴット (Fg)	C.M.v.Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章 (何版にても可)
		サクソフォーン (Sx)	J.Ibert : Concertino da Camera (Leduc 版)
	金管	ホルン (Hr)	W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.2 K.417 Es Dur 第1楽章
		トランペット (Tp)	(A) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階 P.65~P.80, 短音階 P.81 第70~81番, 上記の中より当日指定する。 (注) 長音階第16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69番は除く。 (B) H.Tomasi : Concerto 第1楽章より当日指定する。 (注) C Trumpet 使用のこと。
		◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通課題 E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より下記の部分  第7ポジションまで演奏すること。(注) 暗譜とする。	
	管楽	テナー・トロンボーン (TTb)	C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.34, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 44の中から当日指定する。楽譜は使用して良い。
		バス・トロンボーン (BTb)	C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.26, (37), (42), 43, 44, 46, 50, (54)の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。
		ユーフォニアム (Euph)	C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より当日指定する。
		チューバ (Tu)	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister 版) No.6~No.33より当日指定する。
	打楽器	(Pc)	(1) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 9つ打ち, <u>ロール</u> ( <u>                    </u> , <u>                    </u> , <u>                    </u> , 等) (2) 音階 (鍵盤打楽器による) (3) Collection Drum Solos (Ludwig 社版) より P.4~P.19の中から当日指定する。 (4) 自由曲 (5) 音感テスト (注) 小太鼓は、各自持参すること。

訂正について

平成25年10月10日 (木) より配布している「平成26年度東京藝術大学音楽学部・大学別科入学者選抜試験試験内容及び課題曲」(冊子)の別科オーボエの頁で一部に誤りがありましたので、以下の通り訂正します。

オーボエ

(誤) (第一回)

C.Ph.E.Bach : 無伴奏ソナタ g-moll  
(注) 原曲は Sonata a-Moll Wq.132 無伴奏フルートソナタ



(正)

(第一回)  
C.Ph.E.Bach : 無伴奏ソナタ g-moll 第1, 2楽章 (何版にても可)  
(注) 原曲は Sonata a-Moll Wq.132 無伴奏フルートソナタ

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等
器 古      楽 楽	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ(a'=415, 8'8'4', FF-f'')のみとする。</p> <p>② 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。</p> <p>③ フォルテピアノは、18世紀末のウィーン式モデル (a'=430, 音域 FF-g'')である。</p> <p>④ 必要な伴奏者は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。</p> <p>⑤ すべての受験生に面接を課す。</p> <p>⑥ すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏する自由曲の作品名を書いて、出願とともに提出すること。</p> <p>⑦ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ、出願とともに教務係に送付すること。なお、所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、学部声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>	
	バロック声楽 (BV)	5分程度の自由曲
	バロックヴァイオリン (BVn)	5分程度の自由曲
	バロックチェロ (BVc)	5分程度の自由曲
	リコーダー (Rec)	5分程度の自由曲
	チェンバロ (Cemb)	5分程度の自由曲
	バロックオルガン (BOrg)	5分程度の自由曲
	フォルテピアノ (Fp)	5分程度の自由曲

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等																																										
邦	<p>◎邦楽共通注意事項          受験者は、志願する専修部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。          ただし、長唄・常磐津・清元の志願者は唄本（歌詞のみ）を用いてもよい。</p>																																											
	<p>長唄三味線          常磐津三味線          清元三味線          長唄          常磐津          清元          邦楽囃子（笛含む）</p>	<p>●専修部門課題曲</p> <table border="1" data-bbox="571 405 1425 831"> <thead> <tr> <th>専修部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>「玉 兔」(清沢万吉 作曲)</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>「玉 兔」(清沢万吉 作曲)</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子 (小鼓)</td> <td rowspan="4">「老 松」(四世杵屋六三郎 作曲)  「花見踊」(三世杵屋正治郎 作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃 (大鼓)</td> </tr> <tr> <td>〃 (太鼓)</td> </tr> <tr> <td>〃 ( 笛 )</td> </tr> </tbody> </table> <p>●専修部門以外の実技試験は、下記区分に従い自由曲1曲を選び、曲目提出用紙の所定欄に記入すること。ただし、暗譜の有無は問わない。</p> <table border="1" data-bbox="595 947 1394 1283"> <thead> <tr> <th>専修部門</th> <th colspan="2">専修部門以外の実技試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> <td>自由曲</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子</td> <td>長唄三味線又は長唄</td> <td>自由曲</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみをひかせ、唄・浄瑠璃は係員が担当する。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。  2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。  3. 邦楽囃子の楽器は、各自持参を原則とするが、長唄三味線は、本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。ただし、邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管および4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。  4. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問を行うことがある。</p>	専修部門	課題曲	長唄三味線	「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)	常磐津三味線	「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)	清元三味線	「玉 兔」(清沢万吉 作曲)	長唄	「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)	常磐津	「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)	清元	「玉 兔」(清沢万吉 作曲)	邦楽囃子 (小鼓)	「老 松」(四世杵屋六三郎 作曲) 「花見踊」(三世杵屋正治郎 作曲)	〃 (大鼓)	〃 (太鼓)	〃 ( 笛 )	専修部門	専修部門以外の実技試験		長唄三味線	長唄	自由曲	常磐津三味線	常磐津	自由曲	清元三味線	清元	自由曲	長唄	長唄三味線	自由曲	常磐津	常磐津三味線	自由曲	清元	清元三味線	自由曲	邦楽囃子	長唄三味線又は長唄
専修部門	課題曲																																											
長唄三味線	「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)																																											
常磐津三味線	「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)																																											
清元三味線	「玉 兔」(清沢万吉 作曲)																																											
長唄	「四季山姥」(十一世杵屋六左衛門 作曲)																																											
常磐津	「松の羽衣」(六世岸澤古式部 作曲)																																											
清元	「玉 兔」(清沢万吉 作曲)																																											
邦楽囃子 (小鼓)	「老 松」(四世杵屋六三郎 作曲) 「花見踊」(三世杵屋正治郎 作曲)																																											
〃 (大鼓)																																												
〃 (太鼓)																																												
〃 ( 笛 )																																												
専修部門	専修部門以外の実技試験																																											
長唄三味線	長唄	自由曲																																										
常磐津三味線	常磐津	自由曲																																										
清元三味線	清元	自由曲																																										
長唄	長唄三味線	自由曲																																										
常磐津	常磐津三味線	自由曲																																										
清元	清元三味線	自由曲																																										
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄	自由曲																																										
楽																																												

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等													
邦          楽	箏          曲		※下記の〈古典〉〈現代〉のどちらかを選択し受験する。												
		古典	『松風』三世山木大賀，初代中能島松聲 作曲 箏・三絃どちらの楽器を用いてもよい。												
		現代	『赤壁賦』中能島欣一 作曲												
		山田流	<p>●山田流箏曲注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>演奏箇所は試験の際に指示する。古典による出願者は、箏・三絃のいずれかを選択し曲目提出用紙の所定欄に記入すること。</li> <li>原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用する。</li> <li>本学で用意した箏（テトロン糸）・三絃（絹糸）の使用も可能。なお、曲目提出用紙の所定欄に持参，借用の別を記入すること。</li> <li>演奏は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は座奏でも立奏（椅子）でもよい。</li> <li>暗譜で演奏すること。</li> </ol>												
			<p>※下記の中から、箏・三絃各1曲を選択する。 ただし、学部と併願する場合は、学部への出願曲と重複しないこと。</p>												
		箏	<table border="0"> <tr> <td>『御山獅子』</td> <td>菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付</td> <td>一は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td>『けしの花』</td> <td>菊岡検校・松崎検校 作曲</td> <td>一は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td>『春の曲』</td> <td>吉澤検校 作曲・松阪春栄 補作</td> <td>一は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td>『桜川』</td> <td>光崎検校 作曲</td> <td>一は双調(G)</td> </tr> </table>	『御山獅子』	菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付	一は壺越(D)	『けしの花』	菊岡検校・松崎検校 作曲	一は壺越(D)	『春の曲』	吉澤検校 作曲・松阪春栄 補作	一は壺越(D)	『桜川』	光崎検校 作曲	一は双調(G)
		『御山獅子』	菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付	一は壺越(D)											
		『けしの花』	菊岡検校・松崎検校 作曲	一は壺越(D)											
		『春の曲』	吉澤検校 作曲・松阪春栄 補作	一は壺越(D)											
		『桜川』	光崎検校 作曲	一は双調(G)											
生田流 三絃	<table border="0"> <tr> <td>『ながらの春』</td> <td>菊岡検校 作曲</td> <td>Iの糸は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td>『六段の調』</td> <td>八橋検校 作曲</td> <td>Iの糸は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td>『都踊』</td> <td>宮城道雄 作曲</td> <td>Iの糸は壺越(D)</td> </tr> </table>	『ながらの春』	菊岡検校 作曲	Iの糸は壺越(D)	『六段の調』	八橋検校 作曲	Iの糸は壺越(D)	『都踊』	宮城道雄 作曲	Iの糸は壺越(D)					
『ながらの春』	菊岡検校 作曲	Iの糸は壺越(D)													
『六段の調』	八橋検校 作曲	Iの糸は壺越(D)													
『都踊』	宮城道雄 作曲	Iの糸は壺越(D)													
生田流	<p>●生田流箏曲注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>箏は本学で用意する（18番テトロン糸）。</li> <li>三絃は各自持参とするが、本学で用意した楽器を使用することもできる（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を明記すること）。</li> <li>演奏箇所は試験の際に指示する。</li> <li>演奏は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は座奏でも立奏でもよい。</li> <li>暗譜で演奏すること。</li> </ol>														

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等
邦	尺 八	<p>(1) 課題曲1曲  「楫 枕」 菊岡検校作曲  「四季の眺」 松浦検校作曲  「江の島曲」 山田検校作曲  「住 吉」 山田検校作曲  以上の4曲のうち1曲を選択。  (2) 本曲1曲（曲目は自由）</p> <p>(注) 1. 流派は問わない。  2. 全曲暗譜とする。  3. 五孔尺八の一尺八寸管（竹製）を用いること。  4. 演奏箇所は試験の際に指示する。  5. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。  6. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
	能 楽 (囃 子 を 除 く)	<p>シテ方（観世流及び宝生流）  謡曲 「網之段」（桜川）  仕舞 「岩船」</p> <p>ワキ方（下掛宝生流）  謡曲 「網之段」（桜川）  仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方（和泉流）  謡曲 「大原木」  小舞 「海道下り」</p> <p>(注) 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。</p>
楽	能 楽 囃 子	<p>下記の中から1つを自由選択</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「男舞」(三段)  (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正(政)」キリ  (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ  (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ(昔男のヨリ)</p> <p>(注) 1. 笛以外の楽器は、地謡の流儀（観世流，宝生流のいずれか）を受験曲目提出用紙に記入すること。  2. 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。</p>



## 6. 入学試験

1. 試験は、平成26年3月8日(土)及び3月9日(日)に音楽学部で行います。専修別詳細日程は、「入学試験実施日程表」(別表2)参照してください。

(注) 平成26年3月7日(金)16時以降、試験日程(集合時刻・試験時刻)を音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表しますので、志願者自身が見て確認してください。(試験日時・試験曲等を間違えた場合は失格(不合格)となります。)

2. 受験の際は、本要項表紙裏面記載の「受験上の注意事項」にも留意してください。

## 7. 合格者発表

平成26年3月13日(木)13時より音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。最終合格者は、以下のどちらかの方法により入学手続書類を受け取ってください。

- ① 合格者発表と同時に入学手続に関する書類を13時から16時まで交付します。本学部の「受験票」を必ず持参して、受け取ってください。(代理人可)
- ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、3月13日中に大学から合格者へ入学手続書類を発送します。郵送により入学手続書類を本学へ提出する方については、合格発表時に指示する方法で、3月15日(土)17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡してください。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものと取り扱います。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/index.html>) でも合格者の受験番号を掲載します。入学試験実施日程表に示してある最終合格者発表の日時の1時間後(3月13日14時頃)に掲載する予定です。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

## 8. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行います。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付します。

1. **入学手続期間** 平成26年3月14日(金)及び3月15日(土)  
3月14日(金) 10:00~16:00 (12:00~14:00を除く)  
3月15日(土) 10:00~17:00 (12:00~14:00を除く)  
上記の期間に手続に来ることが出来ない場合は、合格発表時に指示する方法で、3月15日17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡してください。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

2. **場 所** 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. **納 付 金**

入学金 ・ ・ ・ ・ ・ 84,600円 (予定額)

(注) 入学手続終了者が平成26年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しません。

\*参考までに、入学手続時には上記入学金の他に次のような経費の納入が必要となります。

- 学生教育研究災害傷害保険料 (2年間) ・ ・ ・ 1,750円
- 同声会費 (同窓会費) ・ ・ ・ ・ ・ 60,000円

※授業料 (前期分) ・ ・ ・ ・ ・ 267,900円 (年額535,800円) [予定額] (国費外国人留学生は納入不要)

- (注) 1. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までにお支払いください。  
2. 前期分または年額 (前期および後期分) のいずれかにより納入することができます。  
3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

4. 提出書類 誓約書……………1通（所定用紙を交付します。）  
卒業証明書……………1通（平成26年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ）  
写真……………2枚（脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm）  
その他……………合格者発表時通知します。
5. 留意事項 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱います。

9. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について、— 音楽学部と同様です。

10. 入学手続に係る郵送による受付について — 音楽学部と同様です。

III 平成26年度 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

(別表1)

学科	入学志願者が受験を要する教科・科目		受験を要する教科・科目名		受験を要する教科・科目数	備考
	教科	科目名等	教科	科目名等		
作曲科	国外	国英, 独, 仏 から1			2教科2科目	指定した教科・科目の配点は、「国語200点」, 「外国語200点」とし, 合計400点とする。
声乐科	国外	国英, 独, 仏 から1			2教科2科目	「外国語」のうち「英語」を選択解答した場合, 「筆記」の他に「リスニング」を課し, 「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。なお, 「筆記」または「リスニング」どちらか一方でも受験しなかった場合, 当該受験者を失格とする。ただし, 重度難聴者で, 「リスニング」の受験に関し, 大学入試センターの受験特別措置によりその免除が認められた者に対しては, 「筆記」(200点満点)の得点を, そのまま(圧縮することなく)「英語」の評価とする。また, この場合, 「リスニング」不受験により失格とはならない。
器楽科	国外	国英, 独, 仏 から1			2教科2科目	
指揮科	国外	国英, 独, 仏 から1			2教科2科目	
邦楽科	国外	国英, 独, 仏 から1			2教科2科目	大学入試センター試験の成績は, 最終判定に用いる。本学部において実施する「個別試験」の成績を重視する。
楽理科	国外	国英, 独, 仏, 中, 韓 から1 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1 数 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報 から1 理 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I から1		から1	3教科3科目	指定した教科・科目の配点は、「国語200点」, 「外国語200点」, 「地理歴史・公民・数学・理科のうち1教科100点」とし, 合計500点とする。 「外国語」のうち「英語」を選択解答した場合, 「筆記」の他に「リスニング」を課し, 「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。なお, 「筆記」または「リスニング」どちらか一方でも受験しなかった場合, 当該受験者を失格とする。ただし, 重度難聴者で, 「リスニング」の受験に関し, 大学入試センターの受験特別措置によりその免除が認められた者に対しては, 「筆記」(200点満点)の得点を, そのまま(圧縮することなく)「英語」の評価とする。また, この場合, 「リスニング」不受験により失格とはならない。 「地理歴史・公民・数学・理科」については, 指定した教科・科目数を超過して受験した場合, これらのうち最も得点の高い1教科1科目を評価対象とする。ただし, 「地理歴史, 公民, 理科」において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を評価対象とする。 大学入試センター試験の成績は, 1次及び最終判定に用いる。大学入試センター試験の成績及び本学部において実施する「個別試験」の成績を総合して判定する。
音楽環境創造科	国外	国英, 独, 仏, 中, 韓から1 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1 数 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報 から1 理 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I から1		から1	3教科3科目	指定した教科・科目の配点は、「国語200点」, 「外国語200点」, 「地理歴史・公民・数学・理科のうち1教科100点」とし, 合計500点とする。 「外国語」のうち「英語」を選択した場合は, 「筆記」の他に「リスニング」を課し, 筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。なお, 「筆記」または「リスニング」どちらか一方でも受験しなかった場合, 当該受験者を失格とする。ただし, 重度難聴者で, 「リスニング」の受験に関し, 大学入試センターの受験特別措置によりその免除が認められた者に対しては, 「筆記」(200点満点)の得点を, そのまま(圧縮することなく)「英語」の評価とする。また, この場合, 「リスニング」不受験により失格とはならない。 「地理歴史・公民・数学・理科」については, 指定した教科・科目数を超過して受験した場合, これらのうち最も得点の高い1教科1科目を評価対象とする。ただし, 「地理歴史, 公民, 理科」において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を評価対象とする。 ●1次: 個別学力検査等の成績(200点)に, 大学入試センター試験の成績(500点)を加え, その合計点(700点満点)により合否を判定する。 ●2次: 1次の成績(700点満点)に, 2次の小論文(100点)および面接(200点)の成績を加え, その合計点(1000点満点)により合否を判定する。

(注)1. 本学部の指定した教科・科目を受験していない場合は, 失格となるので注意すること。  
2. 本学部では, 大学入試センター試験の前年度成績は利用しない。

## IV 平成26年度 音楽学部・別科入学試験実施日程表

注1. この日程表は、出願状況によって変更することがあるので、本人が表中の日程掲示日時に来学又は本学ホームページで確認すること。  
 注2. 日程等掲示を確認する際は、平日は20時まで、土日は17時までに来学すること。  
 注3. 表中の※は、楽理科志願者に課されている副科実技を、ピアノ以外の楽器で受験する者の副科実技試験日を示す。  
 注4. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。

(別表2)

学科 日程	作曲科	声乐科	器楽科					指揮科	邦楽科	楽理科	音楽環境創造科	受験者 集合場所
			ピアノ	オルガン	弦楽器	管打楽器	古楽					
26年2月 24日(月)	音楽学部入学試験実施についての日程(集合時刻、試験時刻)および注意事項等を16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。(必ず受験者本人が確認すること。) なお、別科試験実施についての日程(集合時間、試験時刻)および注意事項等は、3月7日(金)16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。											
25日(火)	作曲第1回 9:30~12:30和声(B) 14:00~17:00和声(S)	声乐第1回 10:00~	ピアノ第1回 10:00~		弦楽器第1回 10:00~	管打楽器第1回 10:00~			邦楽第1回 三味線音楽・邦楽囃子 9:30~ 日本舞踊 13:00~ 雅楽 15:30~		音楽環境創造 第1回(学力検査) 10:00~11:00	5   1 0 9 室  (大講義室)
26日(水)	作曲第1次合格者発表 および日程等発表 (16:00予定)	声乐第1回 10:00~	ピアノ第1回 10:00~		弦楽器第1回 10:00~	管打楽器第1回 10:00~		邦楽第1回 尺八 10:00~ 箏曲生田流 12:00~ 箏曲山田流 12:00~				
27日(木)	作曲第2回 厳格対位法 12:00~15:00 コラール課題 15:05~17:05	声乐第1次合格者発表 および日程等発表 (時間未定)	ピアノ第1回 10:00~	オルガン試奏日 10:00~	弦楽器第1回 10:00~	管打楽器第1回 10:00~		邦楽第1回 能楽・能楽囃子 10:00~	楽理第1回 (国語)10:00~12:00 (外国語)13:30~15:30	音楽環境創造第1次合格者 発表及び日程等発表 (時間未定)		
28日(金)			ピアノ第1次合格者 発表および日程等発表 (時間未定)									
3月 1日(土)		声乐第2回 10:00~		オルガン第1回 10:30~		管打楽器第1回 10:00~					音楽環境創造 第2回(小論文) 10:00~12:00	
2日(日)	作曲第2次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	声乐第2回 10:00~		第1次合格者発表(声乐科・ピアノ・古楽・指揮科・音楽環境創造科を 除く全科。作曲科は第2次合格者発表。)および日程等発表(声乐 科・ピアノ・古楽・指揮科・音楽環境創造科を除く全科)16:00以降			指揮第1回 (実技)10:00~					
3日(月)												
4日(火)	作曲第3回 自由作曲 9:30~18:30		ピアノ第2回 10:00~	オルガン第2回 14:00~	弦楽器第2回 10:00~	管打楽器第2回 10:00~	古楽第1回 10:00~		邦楽第2回 三味線音楽・邦楽囃子 9:30~ 日本舞踊 13:00~ 雅楽 15:30~	※弦楽器 ※管打楽器 ※オルガン ※チェンバロ ※三味線音楽 ※邦楽囃子 ※雅楽	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~	
5日(水)		声乐第2次合格者発表 および日程等発表	ピアノ第2回 10:00~		弦楽器第2回 10:00~	管打楽器第2回 10:00~		指揮第1次合格者発表 および日程等発表 (16:00予定)	邦楽第2回 尺八 10:00~ 箏曲山田流 12:00~ 箏曲生田流 12:00~ 能楽・能楽囃子 10:00~	※弦楽器 ※管打楽器 ※尺八 ※箏曲山田流 ※箏曲生田流 ※能楽囃子	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~	
6日(木)		声乐第3回 10:00~	ピアノ第2回 10:00~		弦楽器第2回 10:00~	管打楽器第2回 10:00~		指揮第2回 10:00~ 指揮第2次合格者発表 および日程等発表 (時間未定)		※弦楽器 ※管打楽器	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~	
7日(金)	第2次合格者発表(声乐科・指揮科・楽理科・音楽環境創造科を除く全科。作曲科は第3次合格者発表。古楽は第1次発表。) および日程等発表(音楽環境創造科を除く全科)16:00以降 別科入学試験実施についての日程(集合時刻、試験時刻)および注意事項等を16時以降に発表する。 (必ず受験者本人が確認すること。)							指揮第3回 (和声)10:00~11:30	楽理第2回 (和声)10:00~11:30 (小論文)13:00~15:00	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~		
8日(土)	聴音・楽典・新曲視唱・ リズム課題・副科ピアノ 10:00~ ピアノ新曲・面接 14:30~	聴音・楽典・副科ピアノ 10:00~	聴音・楽典・ 新曲視唱・ リズム課題 10:00~ 別科ピアノ 10:30~	聴音・楽典・新曲視唱・リズム課題・副科ピアノ ([注] 指揮科は聴音、新曲視唱、リズム課題を除く。 古楽は副科ピアノを除く。) 10:00~				楽典 10:00~11:00	聴音・楽典・ 新曲視唱・ リズム課題・ 副科ピアノ 10:00~			
9日(日)		別科声乐 10:00~		別科オルガン 13:00~ (試奏は午前)	別科弦楽 10:00~	別科管打楽 10:00~	別科古楽 15:00~ (Borg 試奏は午前)		別科邦楽 10:00~	楽理第2回 (口述試問) 9:30~		
13日(木)	音楽学部・別科 最終合格者発表 13:00時以降(合格者には、入学手続書類を交付する。)											

## V 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

### 1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続きに係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並び健康診断等の健康管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

### 2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)~(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
  - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
  - ②杜の会（美術学部同窓会）
  - ③同声会（音楽学部同窓会）
  - ④東京藝術大学生活協同組合

# 平成26年度東京藝術大学音楽学部入学者選抜試験 個人成績請求申込書

申込日 平成26年 月 日 ( )

氏名 ふりがな \_\_\_\_\_

現住所 (〒 \_\_\_\_\_ ) TEL ( \_\_\_\_\_ )

受験した専攻 \_\_\_\_\_ 受験番号 \_\_\_\_\_

	開 示 内 容		希 望 の 有 無 (以下を記入してください。)
①	<b>大学入試センター試験成績【得点】</b>	科目名記入	
	大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示します。		
②	<b>芸大の個別入学試験成績【順位】</b>	○でかこむ	第1次試験
	第1, 2, 3次(作曲のみ)試験及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示します。ただし、各楽器等種類ごとの各合格者数が、少数(10人程度以下)の場合は開示しません。		第2次試験
			第3次試験(作曲のみ)
			最終試験
③	<b>最終判定に影響があった試験科目</b>	○でかこむ	希望あり
	最終次試験不合格者には、総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に、その科目名を開示します。		希望なし
④	調 査 書	○でかこむ	希望あり
	「指導上参考となる諸事項」, 「参考」欄は除きます。		希望なし

- (注) 1. 募集要項13頁の「入学者選抜試験個人成績の開示について」を参照のうえ、申し込んでください。
2. この書類は、すべて受験生本人が記入してください。
3. 申込期間前, 期間後のものは、一切受け付けません。
4. 申込書受領後, 成績の送付まで約3週間かかります。

# 試験場（東京藝術大学音楽学部）案内図



- 〔交通機関〕
- (J R) 山手・京浜東北線 上野駅（公園口）・鶯谷駅下車 徒歩約10分
  - (東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
  - 千代田線 根津駅下車 徒歩約15分
  - (京成電鉄) 京成上野駅下車徒歩15分

## 東京藝術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

平成25年12月発行

東京藝術大学